

# 鱒ヶ沢町データブック

## 2023



青森県鱒ヶ沢町

# もくじ

1 鱒ヶ沢町のすがた …………… 1	11 教育 …………… 31
2 気象・土地 …………… 2	12 保安・消防 …………… 32
3 人口 …………… 5	13 行政・選挙 …………… 34
4 経済 …………… 8	14 名誉町民章・特別功労章受章者 …………… 37
5 農業 …………… 10	15 世界遺産・文化財・名勝 …………… 38
6 林業 …………… 12	16 鱒ヶ沢町歴史年表 …………… 44
7 水産業 …………… 13	17 主要施設等一覧 …………… 51
8 商工観光 …………… 16	
9 生活・福祉・衛生 …………… 19	
10 財政 …………… 27	

## 利用上の注意

1. 本書は、鱒ヶ沢町に関する町勢の各般にわたる基本的な統計資料を収録したものです。
2. 資料は、官公庁ならびに庁内各課からの資料提供によるもの、または担当課において直接、資料収集したものです。
3. 数値単位は各表の上端に表示していますが、一見して明らかなものは省略し、また数値の単位未満は四捨五入を原則としました。よって、合計の数値と内訳が一致しない場合もあります。
4. 資料中の「年」及び「年次」とあるのは歴年（1月から12月まで）で、「年度」とあるのは、会計年度（4月から翌年の3月まで）間です。それ以外は調査現在月日を表示しましたが、明記していない所もあります。
5. 資料中の符号の用法は次のとおりです。
  - 「0」 …………… 単位に満たないもの
  - 「-」 …………… 該当のないもの
  - 「…」 …………… 資料のないもの、不明のもの
  - 「×」 …………… 事業所数等が1及び2の場合、秘密の保持上秘匿しているもの
6. 本書に収録した統計資料について、さらに詳細な数値が必要な場合は、あるいは質疑がある場合は、表ごとに付記してある資料作成機関、あるいは政策推進課政策調整班に照会してください。

## 鱒ヶ沢町のすがた

- ・庁舎所在地 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地
- ・電話番号 0173 (72) 2111
- ・面積 343.08km<sup>2</sup>
- ・広ぼう 東西22km、南北40km
- ・北緯 40° 26′ ~48′
- ・東経 140° 04′ ~20′
- ・位置・地勢 

鱒ヶ沢町は青森県の西海岸に位置し、およそ東西22km、南北40kmと南北に細長く、総面積も343.08km<sup>2</sup>と広大な土地を有している。北は日本海に臨み南は秋田県、東はつがる市、弘前市、西目屋村、西は深浦町とそれぞれ隣接している。

市街地は海岸に沿っておよそ5kmの帯状に細長く形成され、それに赤石川（44.6km）、中村川（44.9km）、鳴沢川（17.2km）の各流域に、およそ40の集落が点在している。土地利用については、赤石川、中村川、鳴沢川の各流域に水田地帯、岩木山麓の丘陵地に畑作地帯、鳴沢地域の平坦部の果樹園（りんご）を、さらに赤石川、中村川流域の山間部に約78.6km<sup>2</sup>の民公有林地帯、南方に194km<sup>2</sup>にのぼる白神山地核心地域を含む国有林地帯を配している。
- ・鱒ヶ沢という地名 天文5年（1536）の『津軽郡中名字』に鱒ヶ沢の地名が記されている。
- ・地名の由来
  - ①魚の“鱒”がたくさんとれ、小川に鱒がたくさんぼったので
  - ②海獣の“アシカ”が住んでいたので
  - ③“鴨”の古語“アチ”がたくさんいたので
  - ④現在の一丁目目にある沢名が“アシカ沢”と呼ばれていたので、など諸説ありますが、480年程前の古い書物には、鱒ヶ沢の地名はすでに記されていました。（鱒ヶ沢町史より）
- ・町民憲章 昭和54年4月1日制定  
わたくし達は岩木山の霊峰を仰ぎ日本海の高鳴りを聞いて育った鱒ヶ沢町民です。津軽発祥の地に生れた、誇りと伝統を大切に未来への躍進を願いここに町民憲章を制定します。
  - 一、生涯をとおして学び、文化を育む心豊かな町をつくります。
  - 一、仕事に誇りをもち、生き生きとした健やかな町をつくります。
  - 一、おとしよりをいたわり、子どもを慈しむ和やかな町をつくります。
  - 一、みんなで話しあい、進んできまりを守る明るい町をつくります。
  - 一、澄みきった空青い海、緑ゆたかな美しい町をつくります。
- ・鱒ヶ沢町民歌 昭和54年4月1日制定 （鎌田純一 作詞、小倉尚継 作曲）
  - 1、由緒(いわれ)ひさしき港町 みなかみ遠く川きよし  
並(な)み寄る山は青みたり 岩木裾野もひろびろと  
海と陸(くが)との幸(さち)うけて 大きく伸びん ああ 鱒ヶ沢
  - 2、古きをたずね新しき 文化を創(つく)り身を鍛え  
共に生業(なりわい) 究(きわ)めつつ いよよ住みよく豊かなる  
町づくりにぞいそしみて 明日(あす)を拓(ひら)かん ああ 鱒ヶ沢
  - 3、海山川の響(とよみ)さえ 励め睦(むつ)めの 声すなり  
こころ明るく 和(なご)み合い 希望のひかり かけゆく  
我ら力を寄せあいて 躍進(と)げん ああ 鱒ヶ沢
- ・姉妹都市提携 ブラジル連邦共和国サンパウロ州 サンセバスチオン市（1984年10月26日提携）
- ・歴史文化で結ぶ友好協定 岩手県久慈市



## 平均気温（日平均）

(単位：℃)

年次 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
平成12年	0.7	-0.6	2.2	7.9	13.8	17.4	23.0	24.3	20.3	13.1	6.7	1.5	10.9
平成13年	-2.1	-1.8	2.5	8.9	13.4	16.8	21.8	21.5	18.6	13.7	8.0	0.2	10.1
平成14年	0.4	1.2	4.7	10.4	12.9	16.4	21.6	21.9	18.6	13.3	4.8	0.3	10.5
平成15年	-0.5	0.0	2.8	8.8	13.3	17.2	17.9	21.2	18.0	12.7	8.3	3.9	10.3
平成16年	0.2	1.4	3.2	8.1	14.3	18.1	22.4	22.7	19.1	13.6	10.4	3.4	11.4
平成17年	-0.1	-1.6	1.9	8.4	11.7	18.4	19.9	24.4	19.1	14.1	8.2	-0.3	10.3
平成18年	-1.2	-0.4	2.5	6.2	13.2	16.8	20.3	24.4	18.8	12.7	7.8	2.6	10.3
平成19年	1.2	1.8	2.3	6.6	12.8	18.0	19.0	23.3	19.8	12.9	6.8	2.2	10.6
平成20年	-1.0	-0.7	4.3	8.9	12.6	16.0	21.3	20.9	19.0	14.1	7.5	3.4	10.5
平成21年	0.6	0.8	2.7	8.3	13.5	17.3	20.4	21.3	17.9	13.8	7.8	2.1	10.5
平成22年	0.1	-0.5	1.9	7.0	12.0	18.1	23.2	25.0	20.0	13.9	8.1	3.0	11.0
平成23年	-1.8	0.8	1.8	7.8	11.9	17.5	22.2	23.2	19.5	13.1	8.6	0.9	10.5
平成24年	-1.8	-1.9	2.1	7.7	12.9	16.4	21.3	24.4	22.4	14.1	7.1	0.2	10.4
平成25年	-1.6	-1.1	2.6	7.3	12.2	17.6	21.8	23.7	19.6	14.3	7.4	2.8	10.6
平成26年	-0.9	-0.9	2.9	8.0	14.1	18.1	22.1	22.6	18.8	12.6	8.2	1.2	10.6
平成27年	0.6	1.3	4.4	9.6	14.6	17.1	21.9	22.8	18.6	12.3	8.2	3.7	11.3
平成28年	0.1	0.5	4.2	8.6	14.8	16.9	20.8	23.7	19.8	12.8	5.7	3.0	10.9
平成29年	0.2	0.5	3.0	9.2	13.9	15.9	22.8	21.3	18.6	12.7	7.3	1.2	10.6
平成30年	-0.3	-1.4	4.5	8.8	13.3	17.3	22.4	22.4	19.6	14.3	8.8	2.2	11.0
令和元年	0.3	0.8	4.1	8.1	15.2	17.3	21.6	23.8	20.6	14.7	6.9	2.7	11.3
令和2年	1.4	1.4	5.0	7.3	13.4	18.5	20.8	24.4	20.9	13.7	8.8	1.7	11.4
令和3年	-1.1	0.2	5.6	8.6	14.0	18.5	23.3	23.0	19.1	13.9	9.6	2.4	11.4
令和4年	-0.3	-0.3	3.9	9.3	14.3	17.8	22.6	23.0	20.3	13.4	9.3	2.1	11.3

資料：気象庁 アメダス（観測地点：北緯40度46.6分/東経140度12.3分）

(注) )は、統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、許容する範囲内である値

## 降水量（合計）

(単位：mm)

年次 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年合計
平成12年	181.0	86.0	81.0	55.0	81.0	41.0	158.0	53.0	187.0	118.0	123.0	165.0	1329.0
平成13年	118.0	54.0	66.0	45.0	93.0	49.0	199.0	56.0	111.0	143.0	120.0	78.0	1132.0
平成14年	127.0	64.0	90.0	41.0	56.0	124.0	132.0	278.0	100.0	192.0	182.0	104.0	1490.0
平成15年	130.0	40.0	87.0	121.0	40.0	119.0	93.0	195.0	226.0	171.0	143.0	155.0	1520.0
平成16年	145.0	109.0	65.0	100.0	110.0	62.0	64.0	111.0	272.0	34.0	159.0	195.0	1426.0
平成17年	211.0	110.0	111.0	71.0	51.0	71.0	216.0	151.0	139.0	124.0	184.0	124.0	1563.0
平成18年	74.0	62.0	54.0	71.0	71.0	55.0	115.0	196.0	95.0	103.0	168.0	154.0	1218.0
平成19年	135.0	59.0	61.0	102.0	67.0	51.0	41.0	78.0	170.0	93.0	179.0	90.0	1126.0
平成20年	65.0	103.0	29.5	16.5	67.0	41.5	184.0	232.0	20.5	98.0	136.5	193.0	1186.5
平成21年	105.0	92.0	85.5	79.5	58.5	65.0	260.5	142.5	100.0	148.0	125.5	143.5	1405.5
平成22年	159.5	107.0	124.0	62.5	85.5	129.5	129.5	214.0	222.0	100.5	154.0	191.5	1679.5
平成23年	69.0	39.0	68.5	120.0	90.0	115.5	52.0	183.5	352.5	139.0	179.5	154.5	1563.0
平成24年	132.0	68.0	102.5	56.0	60.5	52.0	169.0	80.5	184.0	194.0	350.0	173.5	1622.0
平成25年	93.5	79.0	51.0	93.0	33.0	8.5	176.5	366.5	265.0	237.5	216.5	88.5	1708.5
平成26年	101.5	31.5	125.5	19.5	70.0	134.0	184.5	283.0	86.0	143.0	109.5	158.5	1446.5
平成27年	123.5	85.0	77.0	84.5	59.0	74.0	96.0	74.0	124.5	116.0	167.5	136.5	1217.5
平成28年	89.5	63.5	67.0	78.5	64.5	76.0	118.5	127.5	141.0	143.5	95.5	185.0	1250.0
平成29年	83.0	128.5	69.0	60.5	46.5	147.0	112.0	120.0	182.5	145.5	204.5	156.0	1455.0
平成30年	90.5	71.5	95.5	97.5	138.0	101.5	148.0	212.0	120.5	256.0	103.5	208.5	1643.0
令和元年	73.5	68.0	73.0	53.0	23.5	63.0	32.0	179.5	79.5	189.0	114.5	182.5	1131.0
令和2年	118.5	111.0	84.0	123.5	91.5	100.5	250.0	171.0	211.5	101.0	158.5	126.5	1647.5
令和3年	92.5	88.0	101.5	70.5	87.5	48.0	50.5	160.5	85.0	200.0	205.5	182.5	1372.0
令和4年	168.5	72.5	81.0	28.0	60.5	116.0	82.5	654.5	70.0	111.0	196.0	200.5	1841.0

資料：気象庁 アメダス（観測地点：北緯40度46.6分/東経140度12.3分）

(注) )は、統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、許容する範囲内である値

# 日照時間

(単位：時間)

年次 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年合計
平成12年	27.0	51.9	96.9	162.6	153.6	173.1	162.6	226.3	133.3	132.5	68.5	35.5	1423.8
平成13年	25.0	39.4	137.9	246.1	202.1	172.4	142.0	207.5	165.9	122.4	76.8	20.7	1558.2
平成14年	35.4	68.3	113.4	216.1	188.2	188.6	102.9	101.8	174.4	114.1	33.1	27.9	1364.2
平成15年	20.5	69.7	141.9	178.2	180.5	142.4	105.9	125.0	110.3	157.9	82.7	36.7	1351.7
平成16年	40.9	63.4	142.6	175.8	152.3	155.6	144.9	169.0	142.8	112.7	62.5	33.8	1396.3
平成17年	34.7	23.6	80.4	162.5	170.4	101.9	114.5	185.6	148.1	147.8	68.7	23.1	1261.3
平成18年	17.2	52.3	109.1	109.7	190.3	132.1	102.1	202.7	182.3	135.6	62.9	40.3	1336.6
平成19年	31.9)	78.9	75.1	186.6	185.3	265.2	202.5	203.4	135.1	155.2	73.0	41.1	1633.3
平成20年	20.9	40.9	146.5	195.6	204.9	205.9	111.4	171.8	206.1	159.5)	83.7	53.0	1600.2
平成21年	55.4	48.4	102.1	232.7	226.7	158.1	118.7	143.7	175.0	162.4	84.6	27.7	1535.5
平成22年	33.7	66.4	89.9	144.5	170.2	211.5	129.2	203.3	161.0	124.6	72.2	40.1	1446.6
平成23年	35.7	84.5	106.2	175.6	171.6	214.0	182.8	224.8	125.9	137.8	75.9	21.1	1555.9
平成24年	30.0	53.0	86.5	194.7	186.6	217.8	211.1	241.2	200.6)	140.3	43.8	20.6	1626.2
平成25年	27.8	39.6	93.9	160.9	174.7	226.5	120.0	189.5)	159.6	99.3	58.5	48.8	1399.1
平成26年	22.0	45.7	117.9	254.1)	220.1	180.8	223.0	144.9	209.9	158.4	87.7	15.2	1679.7
平成27年	19.8)	73.0	130.1	206.6	267.3	188.1	196.0	197.0	151.4	133.8)	77.3	39.7	1680.1
平成28年	37.7	43.2	136.1	167.8	253.4	152.2)	184.2	242.2	144.4	115.1	47.8	49.3	1573.4
平成29年	33.2	45.7	125.9	206.1	235.3	185.0	217.0	184.5	187.4	99.8	64.7	32.2	1616.8
平成30年	30.6	46.6	141.1	168.5	193.8	171.0	160.6	164.0	167.3	147.4	89.0	38.4	1518.3
令和元年	27.1	70.0	132.8	209.1	308.8	213.3	205.5	218.7	203.0	136.5	74.8	56.6	1856.2
令和2年	44.4	56.4	164.7	147.2	190.7	217.4	157.0	188.8	178.0	111.2)	67.3)	29.1	1552.2
令和3年	42.2	57.4	135.5)	226.4	187.2	252.3	269.2	175.8	226.3	126.0	84.2	31.5	1814.0
令和4年	32.0	41.6	148.5	238.0	255.0	187.2	203.1	141.5	217.7	146.7	97.2	18.6	1727.1

資料：気象庁 アメダス（観測地点：北緯40度46.6分/東経140度12.3分）

(注) ) は、統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、許容する範囲内である値

# 降雪量（降雪の合計）

(単位：cm)

年次 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年合計
平成12年	150	210	97	0)	///	///	///	///	///	///	1)	98	584
平成13年	203	132	77	4)	///	///	///	///	///	///	12)	72	515
平成14年	160	92	31	0]	///	///	///	///	///	///	24)	103	367
平成15年	187	100	75	0)	///	///	///	///	///	///	0)	45	489
平成16年	182	76	62	17)	///	///	///	///	///	///	0)	92	382
平成17年	193	193	80	5)	///	///	///	///	///	///	0)	199	563
平成18年	168	118	70	0	0]	///	///	///	///	///	0)	63	555
平成19年	146	51	50	0	0]	///	///	///	///	///	14)	50	310
平成20年	117	121	44	0)	///	///	///	///	///	0	16	48	346
平成21年	125	86	60	3	0	0	0	0	0	0	0	89	338
平成22年	172	164	104	0	0	0	0	0	0	0	0	101	529
平成23年	176	86	102	1	0	0	0	0	0	0	8	115	466
平成24年	157	114	103	14	0	0	0	0	0	0	0	105	511
平成25年	154	123	45	0	0	0	0	0	0	0	10	49	427
平成26年	136	135	104	0	0	0	0	0	0	0	0	121	434
平成27年	122	81	14	0	0	0	0	0	0	0	0	50	338
平成28年	136	63	32	0	0	0	0	0	0	0	13	86	281
平成29年	114	107	64	0	0	0	0	0	0	0	19	119	384
平成30年	106	96	24	0	0	0	0	0	0	0	0	141	364
令和元年	73	39	17	0	0	0	0	0	0	0	0	46	270
令和2年	25	64	4	0	0	0	0	0	0	0	0)	81	139
令和3年	63	48	0)	0	0	0	0	0	0	0	0	91	192
令和4年	130	62	16	0	0	0	0	0	0	0	0	53	299

資料：気象庁 アメダス（観測地点：北緯40度46.6分/東経140度12.3分）

(注) ) は、統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、許容する範囲内である値

(注) ]は、統計値を求める対象となる資料が許容する範囲を超えて欠けている値

(注) ///は、欠測または観測を行っていない場合に表示

## 土地利用状況

(単位：ha)

区分 年次	総面積	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
平成12年	34,301	1,911	1,335	280	11,442	2,279	304	16,749
平成13年	34,299	1,887	1,308	268	11,406	2,266	309	16,857
平成14年	34,299	1,908	1,327	281	11,443	2,276	313	16,751
平成15年	34,299	2,187	1,515	319	25,907	2,501	373	1,497
平成16年	34,299	2,184	1,513	321	25,847	2,500	373	1,561
平成17年	34,299	2,186	1,510	324	25,834	2,494	373	1,578
平成18年	34,299	2,185	1,509	326	25,839	2,471	373	1,596
平成19年	34,299	2,182	1,486	326	25,901	2,421	374	1,609
平成20年	34,299	2,182	1,483	327	25,379	2,412	321	2,195
平成21年	34,299	2,181	1,472	327	25,324	2,430	358	2,207
平成22年	34,299	2,179	1,471	328	25,325	2,431	358	2,207
平成23年	34,299	2,180	1,468	329	25,322	2,430	358	2,212
平成24年	34,299	2,172	1,457	329	25,322	2,449	359	2,211
平成25年	34,299	2,174	1,457	332	25,631	2,477	357	1,871
平成26年	34,299	2,173	1,452	333	25,620	2,477	359	1,885
平成27年	34,308	2,169	1,449	335	25,702	2,471	286	1,896
平成28年	34,308	2,168	1,446	336	25,703	2,472	290	1,893
平成29年	34,308	2,166	1,432	338	25,716	2,470	289	1,897
平成30年	34,308	2,165	1,431	337	21,510	2,456	293	6,116
令和元年	34,308	2,164	1,431	339	21,512	2,455	293	6,114
令和2年	34,308	2,159	1,429	341	21,512	2,459	294	6,114
令和3年	34,308	2,158	1,429	342	21,600	2,460	294	6,025
令和4年	34,308	2,156	1,427	345	21,600	2,460	295	6,025
令和5年	34,308	2,156	1,425	346	21,600	2,462	295	6,024

資料：固定資産概要調査（基準日1月1日）

※雑種地内訳…ゴルフ場の用地、鉄軌道用地等

※その他内訳…墓地、境内地、水道用地、用悪水路、ため池、堤、井溝、保安林、公衆用道路、公園

## 農地転用の状況

単位（件、ha）

区分 年次	総件数	総面積	田		畑	
			件数	面積	件数	面積
平成16年	20	4.46	12	1.42	8	3.04
平成17年	9	1.97	7	1.03	2	0.94
平成18年	20	3.76	14	2.05	6	1.71
平成19年	14	1.60	11	1.52	3	0.08
平成20年	5	3.86	2	0.06	3	3.80
平成21年	5	0.15	4	0.14	1	0.01
平成22年	3	0.09	1	0.04	2	0.05
平成23年	4	1.10	3	0.80	1	0.30
平成24年	5	0.39	3	0.32	2	0.07
平成25年	4	0.16	1	0.04	3	0.12
平成26年	4	0.43	1	0.25	3	0.18
平成27年	7	0.56	2	0.04	5	0.52
平成28年	6	0.46	1	0.01	5	0.45
平成29年	8	1.07	2	0.10	6	0.97
平成30年	7	3.19	1	0.29	6	2.90
令和元年	3	0.35	2	0.34	1	0.01
令和2年	6	0.49	2	0.31	4	0.18
令和3年	3	0.10	-	-	3	0.10
令和4年	3	0.30	1	0.20	2	0.10

資料：農業委員会

# 年齢別階級人口（国勢調査）

（単位：人）

区分	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4歳	505	232	273	366	184	182	326	161	165	216	107	109	180	96	84
5～9歳	598	306	292	498	241	257	343	170	173	304	147	157	221	118	103
10～14歳	772	417	355	600	304	296	486	232	254	331	153	178	300	146	154
15～19歳	793	409	384	611	323	288	470	243	227	369	173	196	242	115	127
20～24歳	537	292	245	525	270	255	340	165	175	227	109	118	187	90	97
25～29歳	591	288	303	551	287	264	463	240	223	324	179	145	229	124	105
30～34歳	599	292	307	573	283	290	490	262	228	413	226	187	319	182	137
35～39歳	788	379	409	607	297	310	541	265	276	456	233	223	384	206	178
40～44歳	855	403	452	756	356	400	574	280	294	520	252	268	441	242	199
45～49歳	998	465	533	828	383	445	738	355	383	542	265	277	499	248	251
50～54歳	1,010	508	502	958	448	510	828	394	434	703	338	365	545	263	282
55～59歳	809	371	438	995	507	488	928	420	508	778	361	417	696	336	360
60～64歳	989	428	561	813	374	439	974	486	488	898	402	496	757	345	412
65～69歳	1,118	497	621	980	424	556	811	376	435	933	461	472	906	409	497
70～74歳	1,081	463	618	1,056	455	601	902	374	528	765	347	418	901	436	465
75～79歳	689	269	420	948	377	571	927	370	557	808	322	486	673	286	387
80歳以上	819	259	560	997	300	697	1,308	401	907	1,515	489	1,026	1,554	497	1,057
年齢不詳										24	16	8	10	6	4
総数	13,551	6,278	7,273	12,662	5,813	6,849	11,449	5,194	6,255	10,126	4,580	5,546	9,044	4,145	4,899

（再掲）年齢別人口

（単位：人）

15歳未満 (年少人口)	1,875	955	920	1,464	729	735	1,155	563	592	851	407	444	701	360	341
15～64歳 (生産年齢人口)	7,969	3,835	4,134	7,217	3,528	3,689	6,346	3,110	3,236	5,230	2,538	2,692	4,299	2,151	2,148
65歳以上 (老年人口)	3,707	1,488	2,219	3,981	1,556	2,425	3,948	1,521	2,427	4,021	1,619	2,402	4,034	1,628	2,406
65～74歳 (前期老年人口)	2,199	960	1,239	2,036	879	1,157	1,713	750	963	1,698	808	890	1,807	845	962
75歳以上 (後期老年人口)	1,508	528	980	1,945	677	1,268	2,235	771	1,464	2,323	811	1,512	2,227	783	1,444
年齢不詳										24	16	8	10	6	4

（再掲）年齢別割合

（単位：%）

15歳未満 (年少人口)	13.8	15.2	12.6	11.6	12.5	10.7	10.1	10.8	9.5	8.4	8.9	8.0	7.8	8.7	7.0
15～64歳 (生産年齢人口)	58.8	61.1	56.8	57.0	60.7	53.9	55.4	59.9	51.7	51.8	55.6	48.6	47.5	52.0	43.9
65歳以上 (老年人口)	27.4	23.7	30.5	31.4	26.8	35.4	34.5	29.3	38.8	39.8	35.5	43.4	44.6	39.3	49.1
65～74歳 (前期老年人口)	16.2	15.3	17.0	16.1	15.1	16.9	15.0	14.4	15.4	16.8	17.7	16.1	20.0	20.4	19.6
75歳以上 (後期老年人口)	11.1	8.4	13.5	15.4	11.6	18.5	19.5	14.8	23.4	23.0	17.8	27.3	24.6	18.9	29.5
年齢不詳										0.2	0.4	0.2	0.1	0.2	0.1

資料：国勢調査（基準日10月1日）

※年齢「不詳」を除いて算出

## 人口と世帯数

区分 年度	男 (人)	女 (人)	計 (人)	増減 (人)	性比 (%)	世帯数 (戸)	前年度比 増減 (戸)	1世帯 平均人員 (人)
平成20年度	5,816	6,645	12,461	-285	87.5	4,787	-18	2.6
平成21年度	5,688	6,554	12,241	-220	86.8	4,764	-23	2.6
平成22年度	5,583	6,406	11,989	-252	87.2	4,738	-26	2.5
平成23年度	5,422	6,258	11,680	-309	86.6	4,712	-26	2.5
平成24年度	5,336	6,114	11,450	-230	87.3	4,679	-33	2.4
平成25年度	5,206	5,969	11,175	-275	87.2	4,648	-31	2.4
平成26年度	5,080	5,819	10,899	-276	87.3	4,618	-30	2.4
平成27年度	4,983	5,682	10,665	-234	87.7	4,625	7	2.3
平成28年度	4,865	5,543	10,408	-257	87.8	4,602	-23	2.3
平成29年度	4,755	5,406	10,161	-247	88.0	4,610	8	2.2
平成30年度	4,653	5,267	9,920	-241	88.3	4,616	6	2.1
令和元年度	4,504	5,109	9,613	-307	88.2	4,542	-74	2.1
令和2年度	4,384	4,989	9,373	-240	87.9	4,492	-50	2.1
令和3年度	4,279	4,877	9,156	-217	87.7	4,442	-50	2.1
令和4年度	4,165	4,723	8,888	-268	88.2	4,386	-56	2.0

資料：総合窓口課「住民基本台帳」（年度末現在）

※外国人登録制度の廃止により、平成24年度以降の「住民基本台帳」には、外国人人口を含む。

※性比：女性100人に対する男性の数 = (男性の人口) ÷ (女性の人口) × 100

## 地区別人口・世帯数

単位（人、戸）

年次	区分	鯉ヶ沢	舞戸	赤石	鳴沢	中村	計
令和元年	男	974	1,309	866	862	550	4,561
	女	1,102	1,538	956	931	642	5,169
	合計	2,076	2,847	1,822	1,793	1,192	9,730
	世帯数	1,019	1,386	829	781	567	4,582
令和2年	男	941	1,276	838	847	534	4,436
	女	1,086	1,517	921	896	616	5,036
	合計	2,027	2,793	1,759	1,743	1,150	9,472
	世帯数	1,011	1,357	811	778	566	4,523
令和3年	男	909	1,254	810	830	514	4,317
	女	1,061	1,483	896	878	600	4,918
	合計	1,970	2,737	1,706	1,708	1,114	9,235
	世帯数	993	1,341	797	768	559	4,458
令和4年	男	882	1,215	793	813	500	4,203
	女	1,051	1,430	877	849	571	4,778
	合計	1,933	2,645	1,670	1,662	1,071	8,981
	世帯数	995	1,308	792	751	552	4,398

資料：総合窓口課「住民基本台帳」（12月末現在）

## 将来推計人口および指数（平成27年 = 100とした場合）

年次	総人口（人）	指数
2015年（H27）	10,126	100.0
2020年（R2）	8,882	87.7
2025年（R7）	7,719	76.2
2030年（R12）	6,647	65.6
2035年（R17）	5,688	56.2
2040年（R22）	4,795	47.4
2045年（R27）	3,959	39.1

資料：国立社会保障・人口問題研究所

※「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」コーホート要因法による算出



## 自然動態（出生・死亡）

(単位：人)

年次	区分	出生			死亡			自然増加 実数
		総数	男	女	総数	男	女	
平成12年		86	40	46	190	98	92	-104
平成13年		93	44	49	167	93	74	-74
平成14年		97	48	49	188	96	92	-91
平成15年		72	36	36	186	110	76	-114
平成16年		82	39	43	191	118	73	-109
平成17年		59	28	31	195	103	92	-136
平成18年		71	29	42	178	98	80	-107
平成19年		73	38	35	171	94	77	-98
平成20年		54	29	25	189	103	86	-135
平成21年		65	35	30	183	88	95	-118
平成22年		73	34	39	190	97	93	-117
平成23年		47	21	26	186	87	99	-139
平成24年		46	25	21	205	87	118	-159
平成25年		45	28	17	219	101	118	-101
平成26年		43	21	22	182	87	95	-139
平成27年		42	18	24	202	98	104	-160
平成28年		42	26	16	195	95	100	-153
平成29年		41	22	19	203	106	97	-162
平成30年		25	11	14	205	94	111	-180
令和元年		37	20	17	195	95	100	-158
令和2年		25	14	11	207	107	100	-182
令和3年		32	14	18	230	116	114	-198
令和4年		28	14	14	226	110	116	-198

資料：青森県人口移動統計調査（推計人口年報）

※届出日による集計

## 社会動態（転入・転出）

(単位：人)

年次	区分	転入			転出			社会増加 実数
		総数	男	女	総数	男	女	
平成12年		387	226	161	530	263	267	-143
平成13年		402	211	191	469	242	227	-67
平成14年		413	220	193	498	259	239	-85
平成15年		401	211	190	503	262	241	-102
平成16年		368	192	176	457	255	202	-89
平成17年		291	157	134	498	245	253	-207
平成18年		363	177	186	510	271	239	-147
平成19年		294	168	126	471	267	204	-177
平成20年		284	140	144	499	273	226	-215
平成21年		275	147	128	383	208	175	-108
平成22年		262	145	117	351	179	172	-89
平成23年		192	108	84	370	205	165	-178
平成24年		248	134	114	337	169	168	-89
平成25年		246	126	120	343	157	186	-97
平成26年		211	109	102	336	178	158	-125
平成27年		208	122	86	310	145	165	-102
平成28年		192	104	88	292	146	146	-100
平成29年		196	113	83	248	125	123	-52
平成30年		191	110	81	282	147	135	-91
令和元年		186	102	84	335	174	161	-149
令和2年		175	100	75	249	131	118	-74
令和3年		183	101	82	202	104	98	-19
令和4年		169	90	79	225	108	117	-56

資料：青森県人口移動統計調査（推計人口年報）

※届出日による集計

## 町内総生産（実額）

単位（百万円）

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
農業	1,895	1,683	1,635	1,966	2,093	1,844	1,843	1,920
林業	105	115	123	124	110	106	110	113
水産業	204	207	193	335	302	287	335	242
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	655	740	698	510	974	979	1,019	823
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	1,269	1,602	1,314	1,364	1,400	1,348	1,571	1,751
建設業	1,644	1,681	2,064	3,530	3,088	1,369	1,362	2,529
卸売・小売業	2,194	2,302	2,209	2,187	2,201	2,265	2,251	2,195
運輸・郵便業	1,433	1,355	1,427	1,403	1,415	1,327	1,281	1,281
宿泊・飲食サービス業	1,462	1,454	1,268	1,374	1,492	1,529	1,453	1,277
情報通信業	16	16	13	22	19	17	14	13
金融・保険業	781	729	669	665	678	690	717	705
不動産業	3,898	3,698	3,551	3,482	3,325	3,292	3,196	3,113
専門・科学技術、業務支援サービス業	631	606	569	634	675	683	736	713
公務	2,147	2,055	2,109	2,162	2,153	2,181	2,187	2,131
教育	1,345	1,277	1,276	1,245	1,246	1,254	1,242	1,402
保険衛生・社会事業	3,495	3,536	3,566	3,817	3,851	4,066	4,365	4,655
その他のサービス	1,373	1,239	1,167	1,074	1,020	1,028	972	977
① 小計	24,547	24,294	23,850	25,896	26,042	24,264	24,654	25,840
② 輸入品に課せられる税・関税	75	86	127	140	113	124	158	150
③（控除）総資本形成に係る消費税	183	178	240	295	354	394	360	345
市町村内総生産（①+②-③）	24,439	24,202	23,737	25,741	25,800	23,994	24,451	25,645

### 再掲（税等控除前）

第1次産業	2,204	2,005	1,951	2,425	2,505	2,237	2,289	2,275
	(8.9%)	(8.2%)	(8.2%)	(9.4%)	(9.6%)	(9.2%)	(9.3%)	(8.8%)
第2次産業	2,299	2,421	2,762	4,041	4,062	2,348	2,381	3,353
	(9.4%)	(10.0%)	(11.6%)	(15.6%)	(15.6%)	(9.7%)	(9.7%)	(13.0%)
第3次産業	20,043	19,868	19,137	19,430	19,475	19,679	19,985	20,213
	(81.7%)	(81.8%)	(80.2%)	(75.0%)	(74.8%)	(81.1%)	(81.0%)	(78.2%)

### 1人当たりの所得額

区分	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実額(千円)		1,891	1,947	1,969	2,200	2,207	2,203	2,255	2,366
対前年度増加率(%)		1.2	3.0	1.1	11.7	0.3	-0.2	2.4	4.9

資料：市町村民経済計算（令和4年1月発行）

# 産業別就業人口

産業分類	平成17年				平成22年				平成27年			
	総数	うち男	うち女	比(%)	総数	うち男	うち女	比(%)	総数	うち男	うち女	比(%)
総数	5,786	3,203	2,583	100.0	5,064	2,733	2,331	100.0	4,672	2,480	2,192	100.0
第1次産業	1,390	776	614	24.0	1,171	705	466	23.1	1,050	611	439	22.4
農業	1,240	642	598	21.4	1,006	559	447	19.9	905	484	421	19.3
林業	49	40	9	0.8	87	71	16	1.7	69	58	11	1.5
漁業	101	94	7	1.7	78	75	3	1.5	76	69	7	1.6
第2次産業	1,227	925	302	21.2	953	700	253	18.8	839	642	197	18.0
鉱業・砕石業・砂利採取業	2	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	835	757	78	14.4	568	522	46	11.2	523	480	43	11.2
製造業	390	166	224	6.7	385	178	207	7.6	316	162	154	6.8
第3次産業	3,166	1,501	1,665	54.7	2,934	1,326	1,608	58.0	2,777	1,224	1,553	59.4
電気・ガス熱供給・水道業	13	13	0	0.2	11	9	2	0.2	16	12	4	0.3
情報通信業	19	12	7	0.3	28	17	11	0.6	24	13	11	0.5
運輸業・郵便業	167	139	28	2.9	176	139	37	3.5	137	108	29	3.0
卸売・小売業	864	377	487	14.9	730	299	431	14.4	687	285	402	14.7
金融・保険業	67	28	39	1.2	74	24	50	1.5	47	14	33	1.0
不動産業・物品賃貸業	3	2	1	0.1	15	8	7	0.3	16	8	8	0.3
学術研究・専門・技術サービス業※	—	—	—	—	49	37	12	1.0	39	24	15	0.8
宿泊業・飲食サービス業	284	94	190	4.9	351	122	229	6.9	311	108	203	6.7
生活関連サービス業・娯楽業※	—	—	—	—	194	92	102	3.8	150	65	85	3.2
医療・福祉	515	108	407	8.9	561	118	443	11.1	587	66	521	12.6
教育・学習支援業	190	96	94	3.3	144	70	74	2.8	148	114	34	3.2
複合サービス事業	156	99	57	2.7	98	57	41	1.9	113	76	37	2.4
サービス業(他に分類されないもの)※	590	311	279	10.2	222	124	98	4.4	232	135	97	5.0
公務	298	222	76	5.2	281	210	71	5.6	270	196	74	5.8
分類不能産業	3	1	2	0.1	6	2	4	0.1	6	3	3	0.1

資料：国勢調査（10月1日現在）

※平成22年より新産業分類（サービス関連）で集計

産業分類	令和2年			
	総数	うち男	うち女	比(%)
総数	4,197	2,236	1,961	100.0
第1次産業	897	538	359	21.4
農業	787	442	345	18.8
林業	45	37	8	1.1
漁業	65	59	6	1.5
第2次産業	707	541	166	16.9
鉱業・砕石業・砂利採取業	—	—	—	—
建設業	460	416	44	11.0
製造業	247	125	122	5.9
第3次産業	2,571	1,143	1,428	61.3
電気・ガス熱供給・水道業	12	11	1	0.3
情報通信業	12	6	6	0.3
運輸業・郵便業	122	96	26	2.9
卸売・小売業	626	257	369	14.9
金融・保険業	53	15	38	1.3
不動産業・物品賃貸業	18	11	7	0.4
学術研究・専門・技術サービス業※	32	18	14	0.8
宿泊業・飲食サービス業	274	104	170	6.5
生活関連サービス業・娯楽業※	122	57	65	2.9
医療・福祉	565	126	439	13.5
教育・学習支援業	161	54	107	3.8
複合サービス事業	113	72	41	2.7
サービス業(他に分類されないもの)※	207	128	79	4.9
公務	254	188	66	6.1
分類不能産業	22	14	8	0.5

資料：国勢調査（10月1日現在）

※平成22年より新産業分類（サービス関連）で集計

## 主副業別農家数（販売農家）

単位（戸）

年次	区分	計	主業農家	65歳未満の農業専従者がいる		準主業農家	65歳未満の農業専従者がいる		副業的農家
平成12年		1,043	303	245	285	71	455		
平成17年		914	295	247	201	68	418		
平成22年		780	254	209	182	79	344		
平成27年		605	203	183	113	46	289		
令和2年		455	175	158	56	21	224		

資料：農林業センサス

## 経営耕地面積

単位（ha）

年次	区分	経営耕地			
		総数	田	畑	樹園地
平成12年		2,048	1,385	414	249
平成17年		2,060	1,405	405	250
平成22年		2,019	1,303	467	249
平成27年		1,859	1,267	347	245
令和2年		1,730	1,020	298	412

資料：農林業センサス

## 地区別経営耕地面積

年次	区分	田			畑			樹園地		
		面積 (ha)	戸数	1戸当たり面積 (a)	面積 (ha)	戸数	1戸当たり面積 (a)	面積 (ha)	戸数	1戸当たり面積 (a)
平成22年	合計	1,303	689	189	373	382	98	249	208	120
	鱒ヶ沢	2	2	100	0	1	0	3	2	150
	赤石	453	255	178	54	121	45	3	11	27
	中村	340	193	176	100	107	93	7	17	41
	舞戸	26	35	74	12	22	55	5	10	50
	鳴沢	482	204	236	206	131	157	232	168	138
平成27年	合計	1,267	517	245	347	254	137	245	177	138
	鱒ヶ沢	2	2	100	-	-	-	2	1	200
	赤石	463	195	237	49	72	68	2	9	22
	中村	318	137	232	84	67	125	6	13	46
	舞戸	21	18	117	9	15	60	3	7	43
	鳴沢	463	165	281	205	100	205	232	147	158
令和2年	合計	1,020	320	319	298	160	186	412	145	284
	鱒ヶ沢	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	赤石	427	134	319	34	26	131	15	3	500
	中村	215	70	307	91	47	194	4	8	50
	舞戸	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	鳴沢	355	105	338	161	75	215	389	129	302

資料：農林業センサス

※数値 x …個人を特定できる数値のため記載しない

## 経営規模別農家数（販売農家）

単位（戸）

年次	区分	農家総数	経営規模							
			0.5ha未満 (例外規定)	0.5ha～1.0ha	1.0ha～1.5ha	1.5ha～2.0ha	2.0ha～2.5ha	2.5ha～3.0ha	3.0ha～5.0ha	5.0ha以上
平成12年		1,043	122	272	177	140	100	56	114	62
平成17年		914	97	219	160	119	144	103	72	
平成22年		788	63	184	152	102	122	96	79	
平成27年		605	45	123	113	79	97	68	80	
令和2年		457	36	92	78	60	72	51	68	

資料：農林業センサス

## 主要農産物生産数量（収穫量）

単位（トン）

区分 年度	水稲	小麦	大豆	トマト
平成26年度	5,440	78	466	134
平成27年度	4,500	119	485	142
平成28年度	4,480	140	603	126
平成29年度	4,540	69	443	129
平成30年度	4,243	24	240	129
令和元年度	3,976	62	342	129
令和2年度	3,867	79	320	129
令和3年度	3,548	31	544	129
令和4年度	3,568	127	393	112

資料：作物統計調査、農林水産統計年報、園芸作物統計、農林水産課

## 農作物作付面積

単位（ha）

区分 年度	水稲	小麦	大豆	だいこん	ねぎ	ばれいしょ	ながいも	フロッコリー	にんにく	アスパラガス	トマト	メロン	すいか	りんご ふじ	りんご その他	ぶどう
平成26年度	862	95	356	5	3	10	6	10	1	47	1	7	45	147	146	2
平成27年度	708	50	434	5	3	10	6	9	1	45	1	7	50	147	146	2
平成28年度	706	74	458	0	0	20	4	9	0	46	1	6	46	146	146	2
平成29年度	645	36	330	—	—	20	4	9	—	46	2	6	46	146	147	2
平成30年度	699	23	342	—	—	25	4	9	1	46	2	6	46	146	147	2
令和元年度	654	33	336	—	—	25	4	9	1	46	2	6	46	146	148	2
令和2年度	637	43	333	—	—	25	4	3	1	41	1	5	35	146	148	2
令和3年度	608	28	354	—	—	25	4	3	1	39	1	4	37	145	148	2
令和4年度	583	27	366	—	—	20	3	2	1	39	1	4	34	145	148	2

資料：農林水産課

## 農業算出額

単位（千万円）

区分 年度	合計	耕種								畜産					
		小計	米	麦・雑穀 豆類 いも類	野菜	果実	花き	工芸作物	種苗 苗類 その他	小計	肉用牛	乳用牛	豚	にわとり	その他の 畜産
平成26年度	319	305	71	8	97	125	x	1	x	14	1	4	x	x	x
平成27年度	342	329	71	9	116	129	x	1	x	13	0	4	x	x	x
平成28年度	354	341	81	10	120	127	x	1	x	13	1	4	x	x	x
平成29年度	340	327	90	6	110	118	x	0	x	13	1	4	x	x	x
平成30年度	358	346	95	6	118	123	x	0	2	12	1	5	x	x	x
令和元年度	373	358	101	11	92	149	x	1	x	15	0	8	x	0	x
令和2年度	398	383	88	12	135	144	x	1	x	15	0	7	x	0	x
令和3年度	399	385	68	14	122	177	x	1	x	14	0	7	x	0	x

資料：市町村別農業産出額（推計）、農林水産統計年報

※数値x…個人数値を特定できる為記載しない。

## 林家数及び保有山林面積

年次	区分	林家数 (戸)	保有山林面積 (ha)
		平成22年	合計
平成22年	鯉ヶ沢	6	48
	赤石	255	1,530
	中村	167	1,142
	舞戸	43	281
	鳴沢	100	255
	合計	521	2,917
平成27年	鯉ヶ沢	3	19
	赤石	244	1,484
	中村	156	1,094
	舞戸	32	85
	鳴沢	86	235
	合計	433	2,438
令和2年	鯉ヶ沢	3	36
	赤石	198	1,129
	中村	125	963
	舞戸	33	94
	鳴沢	74	216
	合計	433	2,438

資料：農林業センサス

## 森林資源（官公造林は除く）

単位（面積：ha、蓄積：1,000m<sup>3</sup>）

区分	総数	立木地						無立木地	除地	
		人工林			天然林					
		計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹			
民有林	面積	7,826	4,345	4,315	29	3,412	116	3,296	69	-
	蓄積	1,831	1,333	1,328	5	498	28	469	-	-
国有林	面積	19,387	5,511	5,480	31	12,848	80	12,768	17	1,011
	蓄積	3,270	1,093	911	182	2,177	16	2,161	-	-
計	面積	27,213	9,856	9,795	60	16,260	196	16,064	86	1,011
	蓄積	5,101	2,426	2,239	187	2,675	44	2,630	-	-

資料：青森県森林資源統計書（令和4年4月）

## 樹種別森林資源（民有林）

単位（面積：ha、蓄積：1,000m<sup>3</sup>）

区分		人工林	天然林	計	
立木地	針葉樹	面積	4,315	116	4,431
		蓄積	1,328	28	1,356
	スギ	面積	3,531	-	3,531
		蓄積	1,150	-	1,150
	アカマツ	面積	251	70	321
		蓄積	55	17	72
	クロマツ	面積	176	45	221
		蓄積	40	11	51
	ヒバ	面積	14	0	14
		蓄積	0	0	0
	カラマツ	面積	315	-	315
		蓄積	80	-	80
	その他 針葉樹	面積	29	-	29
		蓄積	4	-	4
	広葉樹	面積	29	3,296	3,325
蓄積		5	469	474	
計	面積	4,344	3,412	7,756	
	蓄積	1,333	497	1,830	
無立木地	伐採跡地	面積		66	
	未立木地	面積		3	
	総数	面積		69	
更新困難地	面積			-	

資料：青森県森林資源統計書（令和4年4月）

## 漁業経営体数、漁船数等

年次	区分	漁業経営 体数 (人)	漁船					最盛期の海上作業従事者数			1経営体平 均漁獲金額 (万円)
			無動力船 隻数(隻)	船外機付船 隻数(隻)	動力船			計	家族	雇用者	
					隻数	トン数	馬力数				
第10次 (平成10年)	青森県		143	3,556	4,445	54,148	412,408	15,423	10,200	5,223	1,148
	日本海北区	965	19	599	776	5,197	59,711	1,769	1,182	587	783
	鱒ヶ沢町	103	0	44	74	933	7,021	239	126	113	764
第11次 (平成15年)	青森県	5,513	164	3,483	4,047	43,583	334,885	13,697	9,458	4,239	904
	日本海北区	882	17	623	712	4,826	50,138	1,559	1,148	411	667
	鱒ヶ沢町	90	1	55	67	851	8,260	199	112	87	603
第12次 (平成20年)	青森県	5,146	103	3,102	3,638	35,831	-	17,478	10,771	6,707	-
	日本海北区	814	8	597	610	4,070	-	2,162	1,461	701	-
	鱒ヶ沢町	75	0	37	67	427	-	401	165	236	-
第13次 (平成25年)	青森県	4,501	67	2,606	3,107	29,359	-	14,189	8,933	5,256	-
	日本海北区	702	4	505	548	3,562	-	1,595	1,190	405	-
	鱒ヶ沢町	67	0	46	50	361	-	260	139	121	-
第14次 (平成30年)	青森県	3,702	17	2,094	2,749	26,573	-	8,217	5,077	3,140	-
	日本海北区	525	2	328	418	2,756	-	797	564	233	-
	鱒ヶ沢町	65	0	47	46	342	-	140	80	60	-

資料：漁業センサス

注：日本海北区は、旧小泊村、旧市浦村、旧車力村、旧木造町、鱒ヶ沢町、旧深浦町、旧岩崎村の地域を指す

## 規模別動力船数

単位(隻)

年次	区分	総隻数	3トン 未満	3~5 トン	5~10 トン	10~20 トン	20~30 トン	30~50 トン	50~100 トン	100~500 トン	総トン数
第7次(昭和58年)		104	11	31	43	9	1	6	1	2	1357.29
第8次(平成元年)		113	21	17	57	5	0	6	4	3	1344.22
第9次(平成5年)		83	9	23	39	4	0	7	0	1	993.53
第10次(平成10年)		74	7	20	37	3	0	5	0	2	932.83
第11次(平成15年)		67	6	14	40	3	0	1	1	2	850.80
第12次(平成20年)		65	8	15	39	2	0	1	0	0	427.00
第13次(平成25年)		50	3	11	33	2	0	1	0	0	360.50
第14次(平成30年)		16	3	6	2	4	0	1	0	0	341.70

資料：漁業センサス

## 漁業種類別経営体数

単位(経営体)

年次	区分	沖合底びき	いかつり	小型定置	刺網	その他	合計
第10次(平成10年)		5	3	44	43	8	103
第11次(平成15年)		1	3	40	39	7	90
第12次(平成20年)		1	2	37	29	6	75
第13次(平成25年)		1	2	32	27	5	67
第14次(平成30年)		1	3	26	24	11	65

資料：漁業センサス

## 自営漁業の専業別経営体数

単位（経営体）

年次	区分	専業（自営漁業のみ）	自営漁業が主	自営漁業が従	その他	合計
第10次（平成10年）		37	29	36	1	103
第11次（平成15年）		30	24	35	1	90
第12次（平成20年）		14	39	22	0	75
第13次（平成25年）		27	28	12	0	67
第14次（平成30年）		37	19	9	0	65

資料：漁業センサス

## 自営・雇われ別漁業就業者数

単位（人）

年次	区分	自営のみ	自営と雇われ		雇われのみ	合計
			自営が主	雇われが主		
第10次（平成10年）		123	4	0	44	171
第11次（平成15年）		108	5	2	39	152
第12次（平成20年）		84	-	-	96	180
第13次（平成25年）		78	-	-	32	110
第14次（平成30年）		76	-	-	60	136

資料：漁業センサス

## 魚種別漁獲数量（主なもの）

単位（トン）

年次	区分	たら	さめ	たい	かれい	ひらめ	あんこう	はたはた	するめいか	やりいか	たこ	計
平成16年		10.6	36.0	60.6	49.3	33.7	-	-	223.8	158.8	39.1	611.9
平成17年		61.9	7.3	26.8	41.4	34.8	-	-	155.0	288.2	31.6	647.0
平成18年		37.2	33.0	29.9	58.5	44.1	35.1	-	352.9	182.6	32.0	805.3
平成19年		14.3	17.5	21.9	52.4	46.9	37.1	-	396.1	159.1	35.0	780.3
平成20年		33.2	51.8	31.7	66.3	55.3	44.9	902.5	92.1	236.3	43.3	1,557.4
平成21年		38.4	72.1	19.2	52.8	47.8	27.9	438.7	101.7	141.0	39.5	979.1
平成22年		30.9	88.7	27.0	54.5	50.5	21.2	218.2	72.5	184.6	32.0	780.1
平成23年		23.6	176.9	51.6	50.7	55.1	15.9	181.2	159.5	211.0	18.6	944.1
平成24年		20.6	208.5	39.5	61.4	38.4	13.7	64.3	145.3	167.3	18.9	777.9
平成25年		68.8	150.2	56.0	63.2	48.3	9.5	501.9	33.7	114.4	23.5	1,069.5
平成26年		44.2	100.6	35.6	37.7	36.2	13.1	482.4	7.4	157.4	30.7	945.3
平成27年		26.2	57.7	21.2	31.4	32.3	9.6	520.3	23.9	349.0	16.4	1,088.0
平成28年		51.0	40.4	41.6	36.1	47.1	12.7	471.0	20.1	263.3	19.4	1,002.7
平成29年		33.8	58.3	23.5	38.0	35.4	12.6	345.4	69.0	132.0	21.1	769.1
平成30年		33.9	54.2	28.9	25.3	33.8	9.8	419.8	11.0	258.4	20.8	895.9
令和元年		63.6	53.5	31.5	18.6	39.3	10.0	244.2	78.4	160.7	26.0	725.8
令和2年		27.8	48.6	38.9	25.8	47.8	10.7	51.4	36.7	153.1	10.9	451.7
令和3年		43.1	52.2	11.0	14.4	35.8	8.0	110.4	21.2	41.4	15.5	353.0
令和4年		88.8	13.9	14.0	11.2	29.1	6.5	24.0	22.6	126.9	8.9	345.9
最高漁獲数量		390.2 (H元)	1,284.6 (H元)	56.0 (H25)	340.9 (S51)	168.9 (S50)	44.9 (H20)	902.5 (H20)	1,305.2 (H元)	509.0 (H15)	109.6 (S61)	

資料：青森県海面漁業に関する調査報告書（属地調査）



# 月別漁獲数量及び金額

単位（上段：数量・トン、下段：金額・百万円）

年次	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成16年		199	110	63	28	71	196	39	7	40	48	102	456	1,359
		93	101	63	19	33	51	17	9	17	19	21	145	588
平成17年		216	174	57	45	75	144	21	15	37	40	46	475	1,345
		148	161	48	31	33	43	17	13	17	13	20	123	667
平成18年		239	126	55	29	46	159	180	11	28	66	74	344	1,357
		91	99	51	19	27	49	60	8	26	26	33	113	602
平成19年		105	61	55	40	53	354	76	14	18	32	46	152	1,004
		68	52	52	24	31	90	27	9	11	16	18	68	465
平成20年		221	123	73	76	89	218	48	10	120	23	31	947	1,982
		137	82	53	28	35	46	24	15	16	16	20	107	579
平成21年		193	101	59	48	63	102	39	21	29	31	44	522	1,252
		116	67	46	19	30	37	20	13	16	9	13	67	453
平成22年		276	157	66	36	65	97	47	8	14	24	30	317	1,138
		107	79	43	19	25	26	28	10	10	12	12	63	435
平成23年		230	239	64	50	68	71	90	12	20	45	50	246	1,183
		95	115	26	16	25	31	30	13	8	8	16	62	446
平成24年		197	181	66	79	57	82	74	11	15	23	40	121	945
		100	60	21	24	23	31	25	7	8	8	10	38	355
平成25年		222	107	124	57	65	74	18	3	30	22	26	554	1,302
		58	48	42	17	23	29	13	2	9	15	13	98	367
平成26年		127	202	50	60	33	38	10	2	10	8	38	511	1,089
		61	101	18	17	16	12	8	2	6	4	16	92	353
平成27年		263	151	66	27	71	43	26	6	12	10	98	482	1,254
		131	83	44	17	23	17	16	3	7	6	33	89	468
平成28年		184	99	133	45	94	46	16	6	16	11	24	526	1,200
		118	72	69	21	35	20	8	4	10	6	13	119	495
平成29年		192	114	80	57	87	42	11	4	38	36	13	353	1,027
		93	84	53	25	24	16	7	6	19	17	8	91	443
平成30年		147	183	161	57	126	28	6	2	18	22	28	438	1,216
		81	110	117	20	28	11	4	2	10	13	12	123	531
令和元年		153	177	130	81	82	37	21	2	56	46	16	269	1,070
		91	75	52	26	30	18	15	2	15	16	7	58	405
令和2年		144	157	120	32	53	36	11	2	8	26	14	76	679
		81	108	46	11	14	12	7	1	5	14	9	36	344
令和3年		152	70	58	28	50	27	9	2	14	9	10	121	550
		52	22	21	9	13	10	6	2	7	6	8	66	222
令和4年		181	113	129	25	46	19	5	2	14	7	12	47	600
		91	51	45	10	17	9	5	2	10	6	9	32	287

資料：青森県海面漁業に関する調査報告書（属地調査）

# 事業所数及び従業者数

単位 (件、人)

区分	平成13年		平成16年 (民営のみ)		平成18年		平成21年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
計	693		567	3,433	633	4,424	613	4,114
農業	0	0	1	15	5	59	5	38
林業	5	59	2	27	5	48	6	53
漁業	3	2	1	2	2	2	2	3
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	68	825	59	520	59	551	54	392
製造業	26	440	29	455	30	393	29	297
電気・ガス・熱供給・水道業	2	14	0	0	2	13	1	3
情報通信業	19	258	2	2	2	2	2	2
運輸業			10	160	12	170	14	178
卸売業・小売業	323	1,209	220	901	205	860	192	864
飲食店・宿泊業			65	374	71	389	75	537
金融・保険業	9	72	10	83	8	77	6	73
不動産業	7	16	8	21	9	16	13	28
学術研究、専門・技術サービス業	-	-	-	-	-	-	7	51
生活関連サービス業、娯楽業	-	-	-	-	-	-	82	280
医療・福祉	215	1,853	18	230	35	558	33	487
教育・学習支援業			7	37	28	230	28	216
複合サービス事業			8	103	15	134	14	89
サービス業 (他に分類されないもの)			127	503	132	669	38	189
公務 (他に分類されないもの)	16	274	-	-	13	253	12	334

資料：事業所・企業統計調査 (平成18年まで)、経済センサス (平成21年以降)

単位 (件、人)

区分	平成24年 (民営のみ)		平成26年		平成28年 (民営のみ)		令和3年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
計	528	3,258	535	3,736	461	2,852	437	2,691
農業	4	19	6	75	3	31	5	32
林業	3	44	6	50	2	35	4	59
漁業	0	0	3	6	1	7	0	0
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	46	383	46	355	45	367	43	295
製造業	28	301	26	296	26	235	27	229
電気、ガス、熱供給、水道業	0	0	1	3	0	0	0	0
情報通信業	2	2	2	2	2	2	2	2
運輸業、郵便業	11	141	10	137	10	111	9	116
卸売業、小売業	167	851	161	801	146	726	129	621
金融、保険業	6	72	6	65	6	63	6	65
不動産、物品賃貸業	19	46	19	39	17	38	13	24
学術研究、専門・技術サービス業	7	23	8	40	7	19	10	30
宿泊業、飲食サービス業	63	537	55	447	52	405	43	311
生活関連サービス業、娯楽業	72	183	67	154	59	124	54	115
教育・学習支援業	13	34	21	149	12	39	9	34
医療、福祉	29	404	33	616	27	398	32	467
複合サービス事業	11	52	12	54	11	103	12	127
サービス業 (他に分類されないもの)	47	166	41	166	35	149	39	164
公務 (他に分類されないもの)	-	-	12	281	-	-	-	-

資料：経済センサス

## 製造事業（従業者4人以上の事業所）

年次	区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等（万円）
平成15年		28	480	295,886
平成16年		24	391	252,271
平成17年		27	404	248,687
平成18年		23	358	223,565
平成19年		18	313	225,614
平成20年		18	323	219,929
平成21年		18	318	211,141
平成22年		18	294	189,819
平成23年		14	223	191,202
平成24年		15	250	172,298
平成25年		15	235	178,338
平成26年		15	223	184,792
平成27年		14	205	118,058
平成28年		－	－	－
平成29年		12	180	191,011
平成30年		12	196	200,083
令和元年		12	183	221,613
令和2年		11	176	162,801
令和3年		10	181	199,515

※経済センサス実施年のため、調査なし

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査

## 観光客入込数

区分 年次	観光客入込数（人）				
	県内客（千人）	県外客（千人）	日帰客（千人）	宿泊客（千人）	
平成10年	920,567	820	101	767	154
平成11年	960,017	812	147	781	178
平成12年	912,704	784	129	761	152
平成13年	917,966	794	123	762	155
平成14年	1,045,680	853	193	859	187
平成15年	1,087,999	892	196	921	167
平成16年	1,083,957	900	184	950	134
平成17年	992,319	795	197	844	148
平成18年	997,817	706	292	848	150
平成19年	968,487	700	268	818	150
平成20年	848,569	606	242	712	136
平成21年	809,106	571	238	664	145
平成22年	703,477	480	223	568	135
平成23年	630,707	440	234	565	109
平成24年	634,649	461	215	557	119
平成25年	670,014	462	208	554	116
平成26年	671,563	471	201	552	119
平成27年	684,126	484	201	570	115
平成28年	657,257	461	196	553	104
平成29年	636,970	436	201	527	110
平成30年	601,470	414	187	497	104
令和元年	620,077	427	193	521	99
令和2年	428,025	338	85	383	54
令和3年	387,788	328	57	354	32
令和4年	366,119	278	92	308	55

資料：政策推進課

# 保育所入所状況

単位（人）

施設名	類型	運営形態	人員	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
鱒ヶ沢 こども園	幼保連携型 認定こども園	町立	定員	70	70	70		
			園児数	39	33	14		
			職員数	16	16	15		
舞戸 保育所	幼保連携型 認定こども園	法人	定員	60	60	60	60	60
			園児数	50	49	46	45	44
			職員数	16	18	19	20	20
たていし 愛児園	保育所型 認定こども園	法人	定員	45	45	45	35	35
			園児数	43	45	33	30	26
			職員数	12	12	11	8	9
つくしの森	保育所型 認定こども園	法人	定員	35	35	65	65	65
			園児数	27	25	41	54	48
			職員数	11	13	20	19	21
みなみ 保育園	保育所	法人	定員	30	30	30	30	30
			園児数	28	27	29	28	21
			職員数	9	11	10	13	12

資料：ほけん福祉課（各年4月1日現在）

※令和2年9月より、中村保育所は認定こども園つくしの森に名称変更

※鱒ヶ沢こども園は令和4年4月に閉園

## 国民健康保険加入状況

単位（世帯、人、％）

年度	加入世帯数		被保険者数	
	加入率	加入率	加入率	加入率
平成14年度	3,436	70.8	8,646	60.9
平成15年度	3,502	71.8	8,579	61.4
平成16年度	3,534	72.1	8,521	61.9
平成17年度	3,529	72.6	8,314	62.0
平成18年度	3,492	72.3	8,097	61.6
平成19年度	3,455	71.8	7,805	60.7
平成20年度	2,820	58.5	5,904	47.0
平成21年度	2,742	57.4	5,641	45.8
平成22年度	2,655	55.7	5,361	44.3
平成23年度	2,587	54.8	5,086	43.1
平成24年度	2,498	53.0	4,811	41.6
平成25年度	2,407	51.5	4,596	40.7
平成26年度	2,304	49.5	4,303	39.1
平成27年度	2,229	48.2	4,076	37.8
平成28年度	2,110	45.6	3,778	35.9
平成29年度	1,993	43.1	3,464	33.6
平成30年度	1,914	41.4	3,251	32.4
令和元年度	1,843	40.2	3,108	31.9
令和2年度	1,832	40.5	3,080	32.5
令和3年度	1,779	40.0	2,978	32.2

資料：国民健康保険図鑑

## 国民健康保険医療費、後発医薬品

単位（円）

単位（％）

年度	医療費（一般加入者）		
	1人あたり	1件あたり	1日あたり
平成27年度	256,155	30,439	16,301
平成28年度	240,448	27,997	15,372
平成29年度	286,598	32,671	17,609
平成30年度	300,676	32,885	17,883
令和元年度	288,983	31,204	17,661
令和2年度	285,767	32,260	18,777
令和3年度	274,866	29,964	17,598

後発医薬品 利用割合
52.2
58.8
60.9
65.9
68.5
71.2
82.2

資料：国民健康保険図鑑

## 国民健康保険料

単位（円）

年度	1人あたり	1世帯あたり	収納率
平成28年度	98,105	176,968	91.5
平成29年度	97,933	172,294	93.6
平成30年度	96,621	172,695	93.9
令和元年度	102,215	172,722	94.3
令和2年度	99,387	166,469	94.7
令和3年度	100,456	167,021	95.1

資料：国民健康保険図鑑

## 介護保険加入状況

単位（世帯、人）

区分 年度	第1号被保険者の いる世帯数（世帯）	第1号 被保険者数
平成19年度	2,916	4,068
平成20年度	2,929	4,059
平成21年度	2,905	4,067
平成22年度	2,915	4,027
平成23年度	2,939	3,966
平成24年度	2,878	4,005
平成25年度	2,898	4,021
平成26年度	2,912	4,061
平成27年度	2,916	4,087
平成28年度	2,945	4,092
平成29年度	2,982	4,114
平成30年度	2,998	4,155
令和元年度	2,983	4,141
令和2年度	2,978	4,131
令和3年度	2,943	4,074

資料：介護保険事業年報

## 要介護認定者数

単位（人、％）

区分 年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	認定率
平成27年度	114	122	196	172	124	108	56	892	21.8
平成28年度	72	83	207	148	101	104	63	778	19.0
平成29年度	74	81	196	138	85	117	62	753	18.3
平成30年度	61	73	169	170	111	108	77	769	18.5
令和元年度	76	61	176	160	111	102	66	752	18.2
令和2年度	81	73	154	176	115	107	71	777	18.8
令和3年度	82	53	154	166	117	100	66	738	17.9
令和4年度	64	67	155	160	100	92	63	701	17.4

資料：介護保険事業月報

## 施設サービス種類別利用人数

単位（人、％）

区分 年度	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設		グループホーム		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
平成27年度	46	18.3	109	43.3	10	4.0	87	34.5	252
平成28年度	50	16.4	118	38.7	7	2.3	130	42.6	305
平成29年度	62	22.7	114	41.8	7	2.6	90	33.0	273
平成30年度	46	18.8	106	43.3	6	2.4	87	35.5	245
令和元年度	46	18.4	113	45.2	6	2.4	85	34.0	250
令和2年度	46	18.0	113	44.3	9	3.5	87	34.1	255
令和3年度	50	20.2	110	44.4	0	0.0	88	35.4	248
令和4年度	42	18.2	107	46.3	0	0.0	82	35.5	231

資料：ほけん福祉課

# 国民年金加入状況

単位（人）

年度	被保険者数			保険料免除者数		付加年金保険料 納付被保険者数
	第1号	任意加入	第3号	全額免除	一部免除	
平成20年度	3,000	21	478	1,034	155	30
平成21年度	2,858	22	456	1,061	152	34
平成22年度	2,695	21	440	1,083	154	34
平成23年度	2,473	22	455	1,055	222	39
平成24年度	2,342	18	433	980	203	37
平成25年度	2,221	15	408	920	199	35
平成26年度	2,007	15	406	856	204	34
平成27年度	1,886	13	389	827	147	31
平成28年度	1,679	13	361	762	134	27
平成29年度	1,496	5	362	724	121	29
平成30年度	1,409	5	323	706	96	33
令和元年度	1,304	5	303	637	99	35
令和2年度	1,231	8	282	607	88	36
令和3年度	1,167	8	257	606	76	30

資料：厚生労働省「国民年金 市区町村別適用状況」（年度末現在）



## 障がい者手帳の交付者数

単位（人）

年度	区分	身体障害者手帳	愛護手帳	精神障害者 保健福祉手帳	計
平成23年度		700	135	84	919
平成24年度		699	135	86	920
平成25年度		696	130	88	914
平成26年度		700	136	90	926
平成27年度		648	122	92	862
平成28年度		649	124	89	862
平成29年度		663	127	92	882
平成30年度		614	127	102	843
令和元年度		598	130	105	833
令和2年度		593	129	110	832
令和3年度		584	125	107	816
令和4年度		591	123	117	831

資料：ほけん福祉課（年度末現在）

## 障がい福祉サービス利用者数

単位（人）

サービス種類	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
在宅生活を支援するサービス		18	20	16	12	13	12	11	15
居宅介護		14	17	15	11	12	9	10	14
重度訪問介護		0	0	0	0	0	0	0	0
重度障害者等包括支援		0	0	0	0	0	0	0	0
短期入所		4	3	1	1	1	3	1	1
外出を支援するサービス		0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護		0	0	0	0	0	0	0	0
同行援護		0	0	0	0	0	0	0	0
昼間の生活を支援するサービス		44	48	48	48	50	51	52	54
療養介護		4	2	2	2	2	3	2	2
生活介護		40	46	46	46	48	48	50	52
自立や就労を支援するサービス		45	44	48	50	53	55	60	63
自立訓練-機能訓練		0	0	0	0	0	0	0	0
自立訓練-生活訓練		1	0	0	0	0	0	0	2
自立訓練- 宿泊型		0	0	2	1	1	0	0	1
就労移行支援		1	1	1	4	1	0	1	0
就労継続支援-A型		14	14	17	17	15	16	15	11
就労継続支援-B型		29	29	28	28	36	39	44	49
住まいの場としてのサービス		70	74	73	76	78	81	84	84
施設入所支援		34	36	36	37	37	37	39	38
共同生活援助		35	37	36	38	40	43	44	43
福祉ホーム		1	1	1	1	1	1	1	3
子どものためのサービス		11	10	13	10	9	8	7	7
児童発達支援		0	0	3	3	3	2	1	1
放課後等デイサービス		11	10	10	7	6	6	6	6
計		188	196	198	196	203	207	214	223

資料：ほけん福祉課（年度末現在）

## 道路整備状況

単位 (m、%)

区分	路線数	実延長	舗装済延長	舗装率
国道	1	19,356	19,356	100.0
県道	主要地方道	71,251	56,081	78.7
	一般県道	37,854	28,609	75.6
町道	一級町道	33,807	32,708	96.7
	二級町道	39,423	39,346	99.8
	その他	124,241	98,269	79.1
計	412	325,932	274,369	84.2

資料：道路台帳調書（令和4年度）

## 農道整備状況

単位 (m、個)

区分			市町村管理		土地改良区等管理	
			延長距離	トンネル・橋梁個数	延長距離	トンネル・橋梁個数
合計			13,272		66,492	
幅員区分	1.8～4.0m	計			10,434	
		うち、舗装済み				
		うち、トンネル部				
	うち、橋梁部					
	4.0m以上	計	13,272		56,058	
		うち、舗装済み	13,272			
うち、橋梁部		195	3		7	

一定要件農道	計	13,272	
	うち、舗装済み	13,272	
	うち、トンネル部		
	うち、橋梁部	195	3

資料：農道台帳（令和4年8月1日現在）

## 林道整備状況

単位 (m、個)

区分			市町村管理	
			延長距離	トンネル・橋梁個数
合計			62,967	
幅員区分	1.8～4.0m	計	12,475	
		うち、舗装済み		
		うち、トンネル部		
	うち、橋梁部			
	4.0m以上	計	50,492	
		うち、舗装済み	27,271	
うち、橋梁部		36.91	4	

一定要件農道	計	41,773	
	うち、舗装済み	27,271	
	うち、トンネル部		
	うち、橋梁部	36.91	4

資料：林道台帳（令和5年3月31日現在）

## 上水道給水状況

年度	区分 給水地域内 総人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)	有収水量 総量 (m <sup>3</sup> )	一般用	営業用	浴場用	工業用	団体用	その他
					平成13年度	8,512	8,086	95.0	836,103	494,864
平成14年度	8,466	8,043	95.0	805,366	487,046	84,249	94,610	7,129	130,663	1,669
平成15年度	8,309	7,894	95.0	793,200	475,553	89,597	102,168	6,164	118,363	1,355
平成16年度	8,219	7,808	95.0	754,614	467,340	91,137	74,589	5,758	112,907	2,883
平成17年度	8,003	7,603	95.0	744,067	460,834	88,012	72,268	6,360	114,229	2,364
平成18年度	7,808	7,418	95.0	741,628	450,478	92,132	83,513	5,663	108,386	1,456
平成19年度	7,660	7,279	95.0	719,293	439,292	92,322	79,085	8,117	99,599	878
平成20年度	7,498	7,106	94.8	667,577	426,629	87,944	47,310	5,627	99,188	879
平成21年度	7,328	6,967	95.1	647,309	428,607	83,368	38,964	3,778	91,952	640
平成22年度	6,928	6,811	98.3	671,334	429,772	84,628	55,600	3,360	96,807	1,167
平成23年度	6,761	6,659	98.5	638,992	420,845	79,977	46,829	4,258	86,524	559
平成24年度	6,601	6,499	98.5	623,435	414,338	75,419	42,989	2,441	87,899	349
平成25年度	6,485	6,397	98.6	599,402	404,851	71,367	31,890	4,732	85,695	867
平成26年度	6,350	6,091	95.9	585,321	396,105	69,535	34,667	1,566	82,620	828
平成27年度	6,324	5,942	94.0	582,703	390,758	68,725	38,882	2,292	81,173	873
平成28年度	6,296	5,890	93.6	573,808	387,408	70,888	33,392	1,487	79,298	1,335
平成29年度	9,244	8,223	89.0	777,334	560,455	74,228	31,606	4,603	105,723	719
平成30年度	8,654	7,898	91.3	757,172	550,293	70,862	25,289	3,845	106,242	641
令和元年度	8,306	7,681	92.5	758,362	544,143	70,248	26,705	3,886	111,983	1,397
令和2年度	8,768	7,716	88.0	731,498	541,635	54,594	23,255	3,521	107,497	996
令和3年度	8,480	7,587	89.5	714,227	533,205	48,714	20,350	4,497	106,763	698
令和4年度	8,250	7,345	89.0	691,438	517,039	52,494	16,731	5,459	98,681	1,034

資料：水道課

## 下水道整備状況

施設名	供用開始年度	計画人口 (人)	計画戸数 (戸)	計画面積 (ha)	水洗化率 (%)	総事業費 (千円)	処理方式	
農業 集落 排水	長平地区	平成7年度	566	85	27	64.8	634,920	JIII
	種里地区	平成10年度	411	125	16.3	70.1	602,080	J I
	中村地区	平成10年度	994	227	32.3	77.0	1,437,790	JIII
	南浮田地区	平成14年度	653	109	23.5	59.4	732,200	JIII
	建石地区	平成15年度	909	184	43.6	57.9	1,075,110	JIII
公共下水道	平成14年度 (一部供用)	3,900	-	329	43.5	7,938,804	OD	

資料：水道課（令和4年3月31日現在）

## ごみ・し尿処理状況

区分 年度	処理計画人口 (人)	ごみ		し尿	
		処理人口 (人)	年間処理量 (トン)	処理人口 (人)	年間処理量 (KI)
平成14年度	14,072	14,072	4,787	14,072	5,972
平成15年度	14,010	14,010	4,816	14,010	6,254
平成16年度	13,805	13,805	4,634	13,805	6,003
平成17年度	13,473	13,473	4,755	13,473	5,570
平成18年度	13,195	13,195	4,405	13,195	5,183
平成19年度	12,804	12,804	4,305	12,804	5,288
平成20年度	12,520	12,520	4,127	12,520	5,096
平成21年度	12,278	12,278	4,061	12,278	4,896
平成22年度	12,020	12,020	4,033	12,020	4,694
平成23年度	11,707	11,707	3,905	11,707	4,876
平成24年度	11,619	11,619	3,930	11,619	4,889
平成25年度	11,347	11,347	3,875	11,347	4,741
平成26年度	11,080	11,080	3,805	11,080	4,676
平成27年度	10,819	10,819	3,742	10,819	3,858
平成28年度	10,565	10,565	3,661	10,565	3,851
平成29年度	10,347	10,347	3,630	10,347	4,225
平成30年度	10,083	10,083	3,534	10,083	3,857
令和元年度	9,791	9,791	3,531	9,791	4,045
令和2年度	9,524	9,524	3,359	9,524	3,816
令和3年度	9,258	8,258	3,265	9,258	3,461

資料：一般廃棄物処理事業実態調査

## 財政状況

単位（千円、※但し地方債現在高は百万円）

区分	年度									
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
標準財政規模	4,786,298	4,708,747	4,530,798	4,500,174	4,311,218	4,217,588	4,140,044	4,119,504	4,269,117	4,539,170
財政力指数	0.178	0.179	0.181	0.188	0.197	0.21	0.21	0.22	0.22	0.22
実質公債費比率	21.30%	19.70%	18.50%	16.90%	15.60%	14.70%	14.60%	14.60%	14.50%	14.10%
実質収支比率	0.002	1.90%	2.50%	2.50%	2.00%	2.13%	1.80%	2.30%	3.60%	3.60%
積立金現在高	11,635	72,704	200,293	485,894	535,182	565,572	639,088	671,825	667,613	1,110,749
財政調整	90	32800	160,385	397,942	427,060	369,065	271,764	340,932	296,216	438,140
減債	142	26842	26,842	26,849	25,093	21,620	99,235	14,331	10,677	177,873
その他特定目的	11,403	13,062	13,066	61,103	83,029	174,887	268,089	316,562	360,720	494,736
地方債現在高	11,397	11,001	10,557	10,024	10,226	9,929	9,637	9,411	11,032	10,603

資料：財政状況資料集

## 町税収入

単位（上段：金額千円 下段：構成比%）

区分	年度										
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総額	781,079 100.0	788,990 100.0	789,483 100.0	759,552 100.0	786,403 100.0	795,953 100.0	789,181 100.0	802,000 100.0	779,036 100.0	822,589 100.0	
普通税	町民税	226,769 29.0	241,146 30.6	228,634 29.0	229,282 30.2	253,029 32.2	258,717 32.5	257,585 32.6	261,526 32.6	252,950 32.5	252,160 30.7
	法人税	28,070 3.6	31,418 4.0	31,086 3.9	32,483 4.3	32,641 4.2	34,773 4.4	30,726 3.9	33,367 4.2	32,466 4.2	31,502 3.8
	固定資産税	397,975 51.0	379,640 48.1	399,022 50.5	375,768 49.5	375,965 47.8	380,499 47.8	381,150 48.3	387,395 48.3	379,818 48.8	422,099 51.3
	軽自動車税	34,305 4.4	34,560 4.4	34,741 4.4	27,381 3.6	33,191 4.2	33,962 4.3	35,243 4.5	36,042 4.5	38,599 5.0	38,146 4.6
	町たばこ税	78,000 10.0	87,211 11.1	80,661 10.2	79,697 10.5	77,673 9.9	73,980 9.3	70,960 9.0	70,920 8.8	70,224 9.0	75,254 9.1
	鉱産税	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	特別土地保有税	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
目的税	入湯税	15,960 2.0	15,015 1.9	15,339 1.9	14,941 2.0	13,904 1.8	14,022 1.8	13,517 1.7	12,750 1.6	4,979 0.6	3,428 0.4
	都市計画税	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

資料：市町村財政便覧

# 普通会計決算額<歳入>

単位（上段：金額千円 下段：構成比％）

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
区分											
計		6,714,184 100.0	6,977,710 100.0	7,227,034 100.0	6,940,719 100.0	7,408,821 100.0	6,810,256 100.0	6,952,374 100.0	7,203,369 100.0	10,329,422 100.0	8,167,635 100.0
自主财源	小計	1,129,234 16.8	1,102,627 15.8	1,259,338 17.4	1,265,535 18.2	1,460,105 19.7	1,498,717 22.0	1,824,773 26.2	1,817,099 25.2	1,692,141 16.4	1,868,283 22.9
	地方税	781,079 11.6	788,990 11.3	789,483 10.9	759,552 10.9	786,403 10.6	795,953 11.7	789,181 11.4	802,711 11.1	779,036 7.5	822,589 10.1
	分担金及び負担金	69,866 1.0	69,089 1.0	74,814 1.0	53,274 0.8	158,701 2.1	40,960 0.6	38,272 0.6	32,741 0.5	38,822 0.4	38,329 0.5
	使用料	57,131 0.9	57,761 0.8	60,817 0.8	59,255 0.9	59,844 0.8	58,300 0.9	58,620 0.8	58,459 0.8	50,317 0.5	50,165 0.6
	手数料	19,614 0.3	22,817 0.3	27,157 0.4	28,570 0.4	26,560 0.4	24,056 0.4	19,329 0.3	19,853 0.3	19,267 0.2	18,363 0.2
	財産収入	22,188 0.3	30,599 0.4	23,502 0.3	19,373 0.3	27,105 0.4	24,634 0.4	22,238 0.3	23,238 0.3	20,672 0.2	20,074 0.2
	寄付金	1,149 0.0	3,454 0.0	1,065 0.0	89,672 1.3	124,143 1.7	152,290 2.2	319,936 4.6	314,853 4.4	266,324 2.6	349,733 4.3
	繰入金	6,514 0.1	12,323 0.2	13,702 0.2	51,551 0.7	134,602 1.8	288,058 4.2	462,814 6.7	414,752 5.8	332,632 3.2	386,386 4.7
	繰越金	0 0.0	7231 0.1	192,302 2.7	72,953 1.1	76,029 1.0	46,791 0.7	48,229 0.7	41,605 0.6	51,550 0.5	108,374 1.3
	諸収入	171,693 2.6	110,363 1.6	76,496 1.1	131,335 1.9	66,718 0.9	67,675 1.0	66,154 1.0	108,887 1.5	133,521 1.3	74,270 0.9
依存财源	小計	5,584,950 83.2	5,875,083 84.2	5,967,696 82.6	5,675,184 81.8	5,948,716 80.3	5,311,539 78.0	5,127,601 73.8	5,386,270 74.8	8,637,281 83.6	6,299,352 77.1
	地方譲与税	73,085 1.1	69,445 1.0	66,933 0.9	69,873 1.0	62,886 0.8	63,960 0.9	64,465 0.9	71,282 1.0	78,788 0.8	79,760 1.0
	利子割交付金	1,436 0.0	1,406 0.0	1,258 0.0	1,044 0.0	790 0.0	1,222 0.0	1,047 0.0	546 0.0	537 0.0	417 0.0
	配当割交付金	698 0.0	1,438 0.0	2,826 0.0	1,952 0.0	993 0.0	1,310 0.0	991 0.0	1,292 0.0	1,131 0.0	1,909 0.0
	株式等譲渡所得割交付金	129 0.0	1,553 0.0	1,174 0.0	1,363 0.0	503 0.0	1,171 0.0	799 0.0	718 0.0	1,328 0.0	1,785 0.0
	地方消費税交付金	100,134 1.5	99,280 1.4	122,372 1.7	197,355 2.8	171,059 2.3	168,816 2.5	181,293 2.6	170,909 2.4	210,360 2.0	225,527 2.8
	ゴルフ場利用税交付金	7,832 0.1	4,932 0.1	4,469 0.1	5,387 0.1	5,659 0.1	5,402 0.1	4,876 0.1	4,476 0.1	3,474 0.0	4,934 0.1
	経由引取税・自動車取得税交付金	19,937 0.3	20,702 0.3	8,613 0.1	11,854 0.2	12,481 0.2	17,129 0.3	15,808 0.2	9,758 0.1	2 0.0	0 0.0
	自動車税環境性能割交付金	-	-	-	-	-	-	-	2,058	4,625	4,584
	法人事業税交付金	-	-	-	-	-	-	-	0	1,636	6,616
	地方特例交付金	1,582 0.0	1,691 0.0	1,370 0.0	1,030 0.0	954 0.0	1,176 0.0	1,581 0.0	9,390 0.1	5,189 0.1	48,856 0.6
	地方交付税	4,072,423 60.7	3,973,522 56.9	3,791,610 52.5	3,740,600 53.9	3,584,984 48.4	3,465,880 50.9	3,378,566 48.6	3,388,079 47.0	3,459,968 33.5	3,770,053 46.2
	普通交付税	3,562,980 53.1	3,494,877 50.1	3,323,038 46.0	3,272,704 47.2	3,129,583 42.2	3,029,261 44.5	2,932,743 42.2	2,961,008 41.1	3,022,292 29.3	3,275,471 40.1
	特別交付税	507,380 7.6	478,284 6.9	468,446 6.5	467,861 6.7	453,801 6.1	435,839 6.4	444,823 6.4	425,747 5.9	437,676 4.2	494,558 6.1
	震災復興特別	2,063 0.0	361 0.0	126 0.0	35 0.0	1,600 0.0	780 0.0	1,000 0.0	1,324 0.0	0 0.0	24 0.0
	国庫支出金	400,440 6.0	487,870 7.0	810,651 11.2	681,933 9.8	604,557 8.2	608,811 8.9	537,450 7.7	622,302 8.6	1,989,045 19.3	1,367,382 16.7
	交通安全対策特別交付金	1,535 0.0	1,398 0.0	1,206 0.0	1,289 0.0	1,310 0.0	1,280 0.0	1,084 0.0	942 0.0	1,075 0.0	1,019 0.0
国有提供施設等所在市町村助成交付	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
県支出金	424,619 6.3	420,346 6.0	512,614 7.1	478,504 6.9	492,940 6.7	451,782 6.6	446,441 6.4	489,518 6.8	493,923 4.8	449,610 5.5	
地方債	481,100 7.2	791,500 11.3	642,600 8.9	483,000 7.0	1,009,600 13.6	523,600 7.7	493,200 7.1	615,000 8.5	2,386,200 23.1	336,900 4.1	

資料：市町村財政便覧

# 普通会計決算額<性質別歳出>

単位（上段：金額千円 下段：構成比％）

区分		年度									
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
計		6,705,353 100.0	6,741,408 100.0	7,098,081 100.0	6,820,690 100.0	7,321,030 100.0	6,720,027 100.0	6,876,769 100.0	7,109,819 100.0	10,148,048 100.0	8,001,103 100.0
義務的 経費	小計	3,562,709 53.1	3,341,159 49.6	3,287,920 46.3	3,200,434 46.9	2,999,341 41.0	2,944,573 43.8	2,848,045 41.4	2,855,809 40.2	2,960,882 29.2	3,114,862 38.9
	人件費	1,203,932 18.0	1,187,934 17.6	1,182,070 16.7	1,165,504 17.1	1,141,922 15.6	1,112,647 16.6	1,073,621 15.6	1,066,330 15.0	1,248,112 12.3	1,172,026 14.6
	うち職員給	764,473 11.4	759,933 11.3	754,360 10.6	743,112 10.9	731,538 10.0	719,625 10.7	691,388 10.1	691,388 9.7	727,154 7.2	694,726 8.7
	扶助費	781,252 11.7	786,602 11.7	858,665 12.1	875,929 12.8	926,055 12.6	904,700 13.5	893,393 13.0	862,884 12.1	874,172 8.6	1,110,374 13.9
	公債費	1,577,525 23.5	1,366,623 20.3	1,247,185 17.6	1,159,001 17.0	931,364 12.7	927,226 13.8	881,031 12.8	926,595 13.0	838,598 8.3	832,462 10.4
投資的 経費	小計	102,591 1.5	252,644 3.7	609,056 8.6	293,433 4.3	1,007,784 13.8	365,875 5.4	228,831 3.3	578,228 8.1	2,481,161 24.4	431,611 5.4
	普通建設事業費	101,440 1.5	206,691 3.1	278,775 3.9	235,857 3.5	995,994 13.6	365,015 5.4	226,481 3.3	578,228 8.1	2,477,104 24.4	431,611 5.4
	うち補助	15,566 0.2	115,779 1.7	69,310 1.0	66,228 1.0	99,578 1.4	196,164 2.9	119,257 1.7	252,516 3.6	349,072 3.4	150,515 1.9
	うち単独	63,155 0.9	72,162 1.1	181,820 2.6	169,629 2.5	896,416 12.2	168,851 2.5	107,224 1.6	325,712 4.6	2,128,032 21.0	281,096 3.5
	災害復旧事業費	1,151 0.0	45,953 0.7	330,281 4.7	57,576 0.8	11,790 0.2	860 0.0	2,350 0.0	0 0.0	4,057 0.0	0 0.0
	失業対策事業費	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その 他の 経費	小計	3,040,053 45.3	3,147,605 46.7	3,201,105 45.1	3,326,823 48.8	3,313,905 45.3	3,409,579 50.7	3,799,893 55.3	3,675,782 51.7	4,706,005 46.4	4,454,630 55.7
	物件費	599,837 8.9	618,162 9.2	740,159 10.4	804,196 11.8	880,693 12.0	793,910 11.8	880,186 12.8	909,081 12.8	882,005 8.7	1,130,844 14.1
	維持補修費	193,899 2.9	136,703 2.0	142,826 2.0	115,342 1.7	159,264 2.2	160,203 2.4	148,797 2.2	94,048 1.3	161,754 1.6	258,529 3.2
	補助費等	1,160,042 17.3	1,191,648 17.7	1,369,384 19.3	1,225,969 18.0	1,254,812 17.1	1,339,077 19.9	1,435,351 20.9	1,418,642 20.0	2,505,179 24.7	1,434,027 17.9
	積立金	1,322 0.0	60,798 0.9	85,333 1.2	270,614 4.0	127,007 1.7	254,178 3.8	472,105 6.9	390,636 5.5	278,960 2.7	748,658 9.4
	投資・出資・貸 付金	104,558 1.6	319,873 4.7	3,585 0.1	6,893 0.1	11,085 0.2	38,429 0.6	28,289 0.4	15,936 0.2	10,325 0.1	3,509 0.0
	繰出金	853,272 12.7	820,421 12.2	859,818 12.1	903,809 13.3	881,044 12.0	823,782 12.3	835,165 12.1	847,439 11.9	867,782 8.6	879,063 11.0
	前年度繰入充用金	127,123 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

資料：市町村財政便覧

# 普通会計決算額<目的別歳出>

単位（上段：金額千円 下段：構成比%）

区分	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総額		6,705,353 100.0	6,741,408 100.0	7,098,081 100.0	6,820,690 100.0	7,321,030 100.0	6,720,027 100.0	6,876,769 100.0	7,109,819 100.0	10,148,048 100.0	8,001,103 100.0
議会費		66,729 1.0	66,598 1.0	67,430 0.9	70,207 1.0	56,637 0.8	57,994 0.9	66,228 1.0	61,658 0.9	65,511 0.6	64,981 0.8
総務費		768,739 11.5	811,659 12.0	827,933 11.7	1,153,963 16.9	1,110,314 15.2	1,340,450 19.9	1,671,289 24.3	1,820,318 25.6	3,973,424 39.2	1,865,733 23.3
民生費		1,536,382 22.9	1,560,789 23.2	1,678,644 23.6	1,712,946 25.1	1,747,203 23.9	1,716,251 25.5	1,682,836 24.5	1,706,538 24.0	1,869,160 18.4	1,958,426 24.5
衛生費		912,520 13.6	1,153,619 17.1	867,624 12.2	747,110 11.0	702,101 9.6	685,832 10.2	701,651 10.2	728,072 10.2	790,976 7.8	894,839 11.2
労働費		34,944 0.5	33,208 0.5	910 0.0	865 0.0	1,198 0.0	835 0.0	687 0.0	2,144 0.0	800 0.0	1,416 0.0
農林水産業費		337,028 5.0	314,474 4.7	391,266 5.5	378,837 5.6	406,135 5.5	372,727 5.5	370,545 5.4	386,966 5.4	360,469 3.6	422,761 5.3
商工費		80,770 1.2	63,900 0.9	65,930 0.9	113,922 1.7	88,756 1.2	102,676 1.5	96,025 1.4	105,345 1.5	302,063 3.0	228,926 2.9
土木費		462,620 6.9	494,334 7.3	532,019 7.5	512,087 7.5	625,318 8.5	665,021 9.9	599,240 8.7	593,216 8.3	698,006 6.9	744,131 9.3
消防費		303,666 4.5	351,126 5.2	593,315 8.4	406,446 6.0	1,060,752 14.5	374,235 5.6	416,764 6.1	369,743 5.2	736,615 7.3	362,163 4.5
教育費		496,156 7.4	479,125 7.1	495,544 7.0	507,730 7.4	579,462 7.9	475,920 7.1	388,123 5.6	409,224 5.8	508,369 5.0	625,265 7.8
災害復旧費		1,151 0.0	45,953 0.7	330,281 4.7	57,576 0.8	11,790 0.2	860 0.0	2,350 0.0	0 0.0	4,057 0.0	0 0.0
公債費		1,577,525 23.5	1,366,623 20.3	1,247,185 17.6	1,159,001 17.0	931,364 12.7	927,226 13.8	881,031 12.8	926,595 13.0	838,598 8.3	832,462 10.4
諸支出金		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
前年度繰上充用金		127,123 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

資料：市町村財政便覧



## 小学校別児童数

単位(人)

年度 区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総計	406	382	373	354	356	369	343	321	296	289	271
西海小学校	133	126	134	139	134	129	120	112	90	77	72
1年	22	23	26	25	17	15	16	17	5	8	12
2年	17	23	24	26	25	17	15	15	17	5	8
3年	24	17	23	23	26	22	17	14	14	18	5
4年	20	24	17	23	23	27	22	17	15	14	18
5年	20	20	24	18	25	23	27	22	17	15	14
6年	30	19	20	24	18	25	23	27	22	17	15
南金沢小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤石小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
舞戸小学校	273	256	239	215	222	240	223	209	206	212	199
1年	40	40	34	37	44	45	29	27	34	37	31
2年	36	40	41	33	36	44	43	29	26	34	37
3年	37	35	40	39	33	38	43	43	30	26	34
4年	57	36	33	37	39	34	36	43	41	30	24
5年	48	57	36	33	37	39	34	33	43	42	30
6年	55	48	55	36	33	40	38	34	32	43	43
中村小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建石小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳴沢小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

※学区再編により、平成23年度より小学校は2校となる

## 中学校別児童数

単位(人)

年度 区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総計	285	268	251	227	204	190	179	175	181	173	175
鱒ヶ沢中学校	285	268	251	227	204	190	179	175	181	173	175
1年	98	85	67	75	62	52	64	61	60	54	58
2年	84	98	86	67	75	63	52	62	59	60	57
3年	103	85	98	85	67	75	63	52	62	59	60
第一中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第二中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

※学区再編により、平成23年度より中学校は1校となる。

## 救急出勤状況

単位（件、%、人）

区分 年次	出動 件数	交通事故		急病		その他		搬送 人員
		件数	比率	件数	比率	件数	比率	
平成14年	413	45	10.9	219	53.0	149	36.1	407
平成15年	451	41	9.1		53.2	170	37.7	446
平成16年	394	38	9.6	212	53.8	144	36.5	388
平成17年	502	37	7.4	296	59.0	169	33.7	495
平成18年	458	30	6.6	237	51.7	191	41.7	446
平成19年	429	38	8.9	242	56.4	149	34.7	426
平成20年	449	27	6.0	218	48.6	204	45.4	446
平成21年	477	20	4.2	248	52.0	209	43.8	464
平成22年	479	29	6.1	245	51.1	205	42.8	469
平成23年	505	28	5.6	292	57.8	185	36.6	491
平成24年	413	23	5.6	242	58.6	148	35.8	390
平成25年	441	26	5.9	238	54.0	177	40.1	419
平成26年	423	35	8.3	226	53.4	162	38.3	410
平成27年	428	29	6.8	228	53.2	171	40.0	411
平成28年	432	30	6.9	232	53.7	170	39.4	416
平成29年	475	30	6.3	249	52.4	196	41.3	453
平成30年	465	21	4.5	276	59.4	168	36.1	455
令和元年	453	20	4.4	255	56.3	178	39.3	439
令和2年	433	13	3.0	222	51.3	198	45.7	406
令和3年	484	18	3.7	279	57.6	187	38.6	451
令和4年	508	20	3.9	308	60.6	180	35.4	482

資料：鯉ヶ沢消防本部

## 火災発生件数と損害見積額の状況

区分 年次	総数		建物			林野		その他		死者数 (人)	傷者数 (人)
	件数 (件)	損害額 (千円)	件数 (件)	消失面積 (㎡)	損害額 (千円)	件数 (件)	損害額 (千円)	件数 (件)	損害額 (千円)		
平成14年	16	103,617	15	2,565	103,613	0	0	1	4	1	3
平成15年	8	77,022	7	743	77,008	1	14	0	0	0	0
平成16年	6	8,921	5	79	8,921	1	0	0	0	0	1
平成17年	8	72,281	5	1,492	66,378	1	5,233	2	670	3	1
平成18年	9	48,756	9	1,238	48,756	0	0	0	0	0	0
平成19年	5	38,470	5	1,050	38,470	0	0	0	0	0	2
平成20年	5	27,274	3	242	20,434	1	0	1	6,840	0	3
平成21年	5	16,117	3	176	16,045	0	0	2	72	0	0
平成22年	6	16,851	6	794	16,851	0	0	0	0	1	0
平成23年	7	11,456	6	440	11,456	1	0	0	0	0	0
平成24年	4	14,422	3	287	14,422	0	0	1	0	0	0
平成25年	7	5,989	5	225	4,473	0	0	2	1,516	1	0
平成26年	7	6,863	3	216	6,074	2	644	2	145	1	0
平成27年	5	7,140	1	91	7,140	1	0	3	0	0	0
平成28年	5	10,125	2	408	9,727	1	0	2	398	0	3
平成29年	2	1,140	1	34	1,140	0	0	1	0	0	0
平成30年	3	173	3	22	173	0	0	0	0	0	0
令和元年	5	8,316	2	469	8,219	2	97	1	0	0	0
令和2年	5	43,010	2	702	42,717	0	0	3	293	2	0
令和3年	9	2,937	1	110	2,826	0	0	8	111	0	0
令和4年	6	18,247	2	436	18,247	1	0	3	0	1	0

資料：鯉ヶ沢消防本部

## 消防力の状況

区分 年次	職員数 (人)	団員数 (人)	ポンプ 自動車 (台)	その他 ポンプ (台)	消火栓 (基)	防火水槽 (基)	消防署 タンク車 (台)
平成14年	36	451	1	42	241	88	2
平成15年	39	446	1	42	244	89	2
平成16年	39	436	1	42	246	89	2
平成17年	39	432	1	42	249	88	2
平成18年	39	434	1	42	249	88	2
平成19年	37	433	1	42	249	88	2
平成20年	36	436	1	42	253	89	2
平成21年	34	439	1	42	253	89	2
平成22年	36	437	1	42	256	89	2
平成23年	36	437	1	42	256	89	2
平成24年	37	437	1	42	256	88	2
平成25年	37	431	1	42	256	88	2
平成26年	39	421	1	42	256	88	2
平成27年	39	394	1	40	256	88	2
平成28年	38	375	1	40	256	88	2
平成29年	38	375	1	40	258	88	2
平成30年	40	372	1	39	258	88	2
令和元年	40	368	1	39	258	88	2
令和2年	40	364	1	36	258	88	2
令和3年	40	346	1	36	257	88	2
令和4年	41	346	1	35	257	88	2

資料：鯉ヶ沢消防本部

## 行政・選挙

### 歴代町長

歴順	氏名	就任	退任
初代	山屋 辰夫	昭和30年5月10日	昭和38年5月9日
2代	中村 清次郎	昭和38年5月10日	昭和50年5月9日
3代	齋藤 禮次郎	昭和50年5月10日	平成11年5月9日
4代	長谷川 兼己	平成11年5月10日	平成21年11月19日
5代	東條 昭彦	平成21年12月27日	平成29年12月26日
6代	平田 衛	平成29年12月27日	

資料：総務課

### 歴代助役・副町長

歴順	氏名	就任	退任
初代	青木 正一	昭和31年10月1日	昭和38年4月22日
2代	神 四平	昭和39年6月22日	昭和44年9月2日
3代	齋藤 禮次郎	昭和45年4月1日	昭和50年1月16日
4代	宮本 岩吉	昭和51年2月13日	昭和55年2月12日
5代	今 清	昭和55年2月13日	昭和63年2月12日
6代	石岡 道男	昭和63年6月18日	平成8年6月17日
7代	井上 豊光	平成8年9月19日	平成10年11月6日
8代	菊地 隆	平成11年9月20日	平成15年9月19日
9代	太田 豊	平成15年9月20日	平成19年9月19日
10代	長内 仁	平成20年4月11日	平成28年3月31日
11代	佐藤 薫	平成28年4月12日	平成29年12月26日
12代	加藤 隆之	平成30年3月1日	

資料：総務課

※平成19年4月1日地方自治法の改正に伴い助役を副町長と改正する

### 歴代収入役

歴順	氏名	就任	退任
初代	笹野 謙次郎	昭和31年10月1日	昭和38年10月28日
2代	本間 勝一郎	昭和39年6月22日	昭和43年6月21日
3代	対馬 鶴蔵	昭和43年6月22日	昭和55年7月9日
4代	佐々木 豊造	昭和55年8月11日	昭和63年8月10日
5代	一戸 恒祐	昭和63年10月3日	平成3年6月5日
6代	三浦 一栄	平成3年10月1日	平成5年6月15日
7代	加藤 行男	平成5年8月5日	平成13年8月4日
8代	太田 豊	平成14年5月1日	平成15年9月19日

資料：総務課

※平成19年4月1日地方自治法の改正に伴い収入役制度を廃止

### 歴代教育長

歴順	氏名	任期
初代	山本 竹次郎	昭和30年3月～昭和31年6月
2代	松山 豊太郎	昭和31年9月～昭和38年11月
3代	小沼 勉	昭和38年12月～昭和42年12月
4代	中道 武雄	昭和43年8月～昭和47年8月
5代	番場 勝栄	昭和47年8月～昭和51年8月
6代	大沢 正四郎	昭和51年10月～昭和55年10月
7代	奈良 広太郎	昭和55年10月～昭和59年10月
8代	兼平 瑞夫	昭和59年10月～平成8年10月
9代	福田 眞弘	平成8年10月～平成16年10月
10代	番場 幸浩	平成17年4月～平成25年3月
11代	神 豊	平成25年10月～平成29年12月
12代	阿彦 正弘	平成30年4月～

資料：学校教育課

### 歴代町議会議長

歴順	氏名	就任	退任
初代	今 傳造	昭和30年4月13日	昭和31年3月30日
		昭和31年4月15日	昭和35年3月30日
		昭和35年4月16日	昭和36年2月22日
2代	山本 榮吉	昭和36年2月22日	昭和39年3月30日
3代	富田 重次郎	昭和39年4月11日	昭和42年2月16日
4代	安田 慶治	昭和42年3月18日	昭和43年3月30日
5代	齋藤 武雄	昭和43年5月10日	昭和47年3月30日
6代	太田 直次郎	昭和47年4月18日	昭和51年3月30日
7代	富田 重次郎	昭和51年4月30日	昭和55年3月30日
8代	新保 良三	昭和55年4月18日	昭和57年9月10日
9代	神 徳蔵	昭和57年9月10日	昭和59年3月30日
10代	戸沼 清	昭和59年4月12日	昭和61年3月19日
11代	工藤 精四郎	昭和61年4月19日	昭和63年3月30日
12代	寺沢 太助	昭和63年4月15日	平成2年4月27日
13代	木村 種次郎	平成2年4月27日	平成4年3月30日
14代	佐藤 勇	平成4年4月17日	平成6年4月22日
15代	由利 兼太郎	平成6年4月22日	平成8年3月30日
16代	工藤 兼光	平成8年4月17日	平成9年6月10日
17代	坂牛 淳治	平成9年6月10日	平成12年3月30日
		平成12年4月14日	平成16年3月30日
18代	世永 富也	平成16年4月16日	平成20年3月30日
19代	齋藤 孝夫	平成20年4月11日	平成24年3月30日
20代	新保 勝敏	平成24年4月10日	平成28年3月30日
21代	一戸 千代久	平成28年4月12日	平成30年6月12日
22代	長谷川 統一	平成30年6月12日	平成31年1月18日
23代	渋谷 悦男	平成31年3月1日	令和2年3月30日
24代	神 孝	令和2年4月14日	

資料：議会事務局

### 歴代町議会副議長

歴順	氏名	就任	退任
初代	戸沼 英一	昭和30年4月15日	昭和31年3月30日
2代	山本 榮吉	昭和31年4月15日	昭和35年3月30日
		昭和35年4月16日	昭和36年2月22日
3代	渋谷 忠行	昭和36年2月22日	昭和39年3月30日
4代	田中 稔	昭和39年4月11日	昭和43年3月30日
5代	桑村 強	昭和43年5月10日	昭和47年3月30日
6代	山田 武	昭和47年4月18日	昭和51年3月30日
7代	野呂 貞蔵	昭和51年4月30日	昭和53年12月16日
8代	神 徳蔵	昭和53年12月16日	昭和55年3月30日
9代	戸沼 清	昭和55年4月18日	昭和59年3月30日
10代	木村 種次郎	昭和59年4月12日	昭和63年3月30日
11代	由利 兼太郎	昭和63年4月15日	平成2年4月27日
12代	成田 正義	平成2年4月27日	平成4年3月30日
13代	岩淵 佐市郎	平成4年4月17日	平成6年4月22日
14代	坂牛 淳治	平成6年4月22日	平成8年3月30日
15代	小沼 友昭	平成8年4月17日	平成12年3月30日
16代	本間 武一	平成12年4月14日	平成15年5月18日
17代	見崎 清	平成15年6月5日	平成16年3月30日
18代	神 孝	平成16年4月16日	平成20年3月30日
19代	新保 勝敏	平成20年4月11日	平成24年3月30日
20代	一戸 千代久	平成24年4月10日	平成28年3月30日
21代	長谷川 統一	平成28年4月12日	平成30年6月12日
22代	鶴田 悦子	平成30年6月12日	令和2年3月30日
23代	田中 亨	令和2年4月14日	

資料：議会事務局

### 町議会議員

任期：令和2年3月31日～令和6年3月30日

議席番号	氏名	議会構成
1	佐藤 昭司	総務文教
2	佐藤 薫	議会運営、総務文教
3	須藤 一	産業建設、議会広報
4	菊谷 忠光	議会運営、総務文教、議会広報
5	東條 一彦	議会運営、総務文教
6	渋谷 悦男	産業建設
7	田中 亨	副議長、総務文教
8	今 勝義	産業建設、議会広報
9	新保 勝敏	議会運営、総務文教
10	齋藤 孝夫	議会運営、産業建設
11	欠 員	
12	神 孝	議長、産業建設

資料：議会事務局（令和4年3月3日現在）

### 農業委員

任期：令和4年5月13日～令和7年5月12日

役職	No.	氏名
会長		工藤 清
職務代理人	1	木村 賢一
委員	2	長谷川 貴輝
委員	3	大谷 大輝
委員	4	木村 優仁
委員	5	今 仁司
委員	6	神 秀穂
委員	7	神 文人
委員	8	三上 三樹
委員	9	佐藤 松子
委員	10	木村 暢子
委員	11	工藤 修二
委員	12	工藤 文信
委員	13	對馬 孝

資料：農業委員会

### 監査委員

職名	氏名	就任
代表監査委員	増田 晶夫	平成16年3月29日
議会選出	佐藤 昭司	令和2年4月14日

資料：総務課

### 教育委員

職名	氏名	任期
教育長	阿彦 正弘	平成30年4月1日～令和6年3月31日
職務代理人	山崎 康裕	令和2年10月24日～令和6年10月23日
委員	今 郁子	令和4年12月26日～令和8年12月25日
委員	田附 藤子	令和2年10月24日～令和6年10月23日
委員	尾崎 充美	令和3年9月24日～令和7年9月23日

資料：学校教育課

### 固定資産評価審査委員

職名	氏名	任期
委員長	安田 正美	平成27年6月20日～令和6年6月19日
委員	富田 重基	平成28年4月10日～令和7年4月9日
委員	齋藤 博	平成28年4月10日～令和7年4月9日

資料：総務課

### 農地利用最適化推進委員

任期：令和4年5月13日～令和7年5月12日

担当地域	No.	氏名
赤石	1	須藤 正義
赤石	2	寺沢 里志
赤石	3	三上 一雄
中村	4	一戸 悦雄
中村	5	中村 広
中村	6	齋藤 博
鳴沢・鯉舞	7	境谷 文春
鳴沢・鯉舞	8	佐藤 亨
鳴沢・鯉舞	9	茶谷 秀光
鳴沢・鯉舞	10	川田 春實
鳴沢・鯉舞	11	佐藤 正由

資料：農業委員会

### 選挙管理委員

職名	氏名
委員長	須藤 壽
同職務代理	吉田 照生
委員	水口 清治
委員	斉藤 透

資料：選挙管理委員会

### 職員数

所属	人員	所属	人員
〈町長部局〉	(106)	〈教育委員会〉	(14)
総務課	19	学校教育課	4
政策推進課	15	社会教育課	8
農林水産課	10	中央・地区公民館	2
ほけん福祉課	26	給食センター	0
建設管財課	10	〈議会事務局〉	(2)
総合窓口課	15		
総務課付派遣	10	〈農業委員会〉	(2)
総合窓口課付派遣	1		
		(公営企業)	(8)
		水道課	8
		合計	132

資料：総務課（令和5年4月1日現在）

※短時間再任用職員は含まない

## 主要選挙の有権者数及び投票率

選挙名	実施月日	有権者数			投票率 (%)
		計 (人)	男 (人)	女 (人)	
町議選	平成12年3月26日	11,781	5,532	6,249	86.36
衆議選	平成12年6月25日	11,765	5,530	6,235	60.61
参議選	平成13年7月29日	11,649	5,497	6,152	52.83
知事選	平成15年1月26日	11,567	5,442	6,125	58.11
県議選	平成15年4月13日	11,587	5,456	6,131	77.30
町長選	平成15年4月27日	11,444	5,378	6,066	88.33
知事選	平成15年6月29日	11,527	5,418	6,109	56.12
衆議選	平成15年11月9日	11,567	5,445	6,122	56.76
町議選	平成16年3月28日	11,438	5,374	6,064	85.39
参議選	平成16年7月11日	11,496	5,402	6,094	54.67
衆議選	平成17年9月11日	11,344	5,308	6,036	66.95
町長選	平成19年4月22日	10,909	5,054	5,855	82.74
知事選	平成19年6月3日	10,905	5,059	5,846	44.05
参議選	平成19年7月29日	11,022	5,125	5,897	55.69
衆議選	平成21年8月30日	10,628	4,913	5,715	71.36
町長選	平成21年12月27日	10,508	4,840	5,668	80.41
参議選	平成22年7月11日	10,505	4,837	5,668	57.44
知事選	平成23年6月5日	10,251	4,715	5,536	46.47
町議選	平成24年3月25日	10,068	4,619	5,449	73.11
衆議選	平成24年12月16日	10,039	4,636	5,403	56.28
参議選	平成25年7月21日	9,892	4,586	5,306	47.88
衆議選	平成26年12月14日	9,668	4,478	5,190	49.42
知事選	平成27年6月7日	9,529	4,421	5,108	44.83
参議選	平成28年7月10日	9,576	4,459	5,117	53.91
衆議選	平成29年10月22日	9,277	4,303	4,974	59.61
町長選	平成29年12月3日	9,214	4,282	4,932	75.50
県議選	平成31年4月7日	8,891	4,144	4,747	63.14
知事選	令和元年6月2日	8,908	4,155	4,753	43.33
参議選	令和元年7月21日	8,916	4,164	4,752	44.16
町議選	令和2年3月15日	8,724	4,064	4,660	71.00
衆議選	令和3年10月31日	8,414	3,908	4,506	56.62
参議選	令和4年7月10日	8,297	3,848	4,449	51.39
県議選	令和5年4月9日	8,005	3,716	4,289	55.48
知事選	令和5年6月4日	7,991	3,708	4,283	60.54

資料：選挙管理委員会

※無投票及び補欠選挙は記載していない。

## 名誉町民章

年 度	氏 名		
平成17年度	齋 藤 禮次郎	地方自治	第1号
平成17年度	舞の海 秀 平	その他	第2号

資料：総務課

## 特別功労章授章者

年 度	氏 名		氏 名		氏 名	
平成2年度	神 四 平	地方自治	小 沼 隆 蔵	地方自治		
平成3年度	富 田 重次郎	地方自治	豊 田 誠 治	地方自治	佐 藤 勇	農業
平成5年度	木 村 種次郎	地方自治				
平成6年度	舞の海 秀 平	文化・スポーツ	ナターリア・ニコラエフ ナ・クズメンコ	国際交流	三 上 孝 三	水産
	木 村 志津雄	水産	原 彰 彦	水産		
平成7年度	田 附 き つ	教育・文化				
平成8年度	櫻 井 唯四郎	納税				
平成9年度	加 藤 肇	地域振興				
平成10年度	湊 谷 昭 二	地方自治				
平成11年度	須 藤 八重太郎	消防				
平成12年度	對 馬 鶴 藏	地方自治				
平成13年度	清 野 鈴次郎	農林業	田 澤 長太郎	地方自治	澁 谷 文 夫	地方自治
平成14年度	山 田 衛	農業	中 道 せ つ	地方自治		
平成15年度	大 村 圭 二	スポーツ	白 取 久 吉	地方自治	三 上 正 一	農業
平成16年度	網 野 榮一郎	産業経済	木 村 褒 一	教育	工 藤 直 敏	地方自治
	長谷川 小 市	農業				
平成17年度	鍋 谷 聖 道	保健衛生	湊 谷 彌 生	保健衛生		
平成18年度	外 崎 成 里	地方自治	上 田 幸 悦	納税	太 田 要 一	地方自治
	工 藤 義 市	納税	斉 藤 勇 一	納税	神 徳 一	地方自治
	田 浦 幸 子	納税	松 江 善 造	地方自治	長谷川 ア キ	納税
平成20年度	小 杉 有 信	保健衛生	白 取 唯 行	地方自治		
平成21年度	岩 山 キ ミ	社会福祉	工 藤 富士雄	農業	斉 藤 二 郎	農業
	工 藤 良 雄	地方自治				
平成22年度	鶴 田 港	農業				
平成23年度	坂 牛 淳 治	地方自治				
平成26年度	岩 本 一 次	納税	葛 西 勝 尚	地方自治	木 村 陽 子	納税
平成28年度	新 保 なり子	社会福祉	星 野 恵 治	保健衛生	佐 藤 君 雄	地方自治
平成30年度	佐 藤 昭 雄	地方自治	白 戸 昭 佳	納税	山 下 正 義	教育
令和2年度	工 藤 満 徳	地方自治				

資料：総務課

## 功労褒賞授賞者（令和3年度表彰条例改正）

年 度	氏 名	
令和3年度	増田 晶夫	地方自治
令和4年度	田中 亨	地方自治

資料：総務課

## 世界遺産

名称	分類	登録年月日	備考
白神山地	自然遺産	H5.12.9	登録区域：16,971 ha（うち 4,650 ha が鱒ヶ沢町）

## 日本遺産

名称	分類	認定年月日	備考
荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～	北前船寄港地の文化財群	H29.4.28	(全国48市町) 「日和山」「城の下の荷揚げ場跡」「尾崎酒造酒蔵」「丸二塩屋資料」「鱒ヶ沢町絵図」「正調鱒ヶ沢甚句」「鱒ヶ沢白八幡宮の大祭 行事」「白八幡宮絵馬群」「白八幡宮玉垣」「白八幡宮御神灯」「常灯碑」「願行寺」「来生寺」

## 文化財

指定区分	名称	分類	員数	指定年月日	備考
国	岩木山の登拝行事	重要無形民俗文化財	-	S59.1.21	青森市・弘前市・黒石市・五所川原市・東津軽郡・西津軽郡・中津軽郡・南津軽郡・北津軽郡
国	津軽氏城跡(種里城跡)	史跡	-	H14.12.19	昭和27年(1952)国史跡と指定され、禅林33ヵ寺の長勝寺構と最勝院五重塔を含む新寺構も指定された。昭和60年(1985)、弘前城跡を津軽氏城跡と改称し、弘前城南東4kmの津軽氏の旧城堀越城跡が追加指定、平成14年(2002)には、鱒ヶ沢町の種里城跡が、平成22年(2010)には堀越城跡が追加指定され、指定面積は約105万8千m <sup>2</sup> である。
県	親鸞上人連座御影	絵画	1	S38.4.10	釣町来生寺、室町時代。絹本着色で、浄土真宗の開祖親鸞を中心に、上に師である法然を、下に親鸞の門流の僧たちを配した浄土真宗寺院に広く見られる「連座御影」である。制作時期が室町時代にさかのぼり、この種の画像としては県内で最も古いものである。
県	阿弥陀如来像	絵画	1	S38.4.10	釣町来生寺、室町時代。絹本着色で、上下の文様もすべて描表装であらわした画像。立像の阿弥陀如来が来迎の印相を結んでおり、背後には阿弥陀仏の四十八願を象徴する48本の光線があらわされている。
県	菩薩坐像(寺伝薬師如来像)円空仏	彫刻	1	S41.1.12	富根町延寿院、江戸時代前期寛文7年(1677)ころ。西海岸に唯一所在する円空仏。寺伝では寛文2年(1662)に鱒ヶ沢の沖で漁網にかかったものと伝え、「海上漂流黒本尊」の別名がある。全体に黒色を呈しているが、他の同種の観音菩薩坐像と同じように本来は素木仕上げだったと考えられる。また海中から仏像を招来した伝承は本像のほかにも各地にみられ、漁師の信仰とともに生まれたことが知られる。
県	鱒ヶ沢白八幡宮の大祭行事	無形民俗文化財	-	H25.8.14	白八幡宮大祭保存会。神輿渡御(みこしとぎょ)に人形山車が付祭となっている行事としては、津軽地方で唯一現存している祭礼である。祭礼は、「弘前藩庁日記」(国日記)の記録から、延宝5年(1677)には、行われていたと推測される。神輿寄進札に貞享2年(1685)の紀年銘があり、そのころには、神輿渡御を伴う祭礼が行われていたものと考えられる。付祭(つけまつり)としての山車(だし)行事については、藩政時代どのようなものであったか不明な点が多いが、釣町(つりまち)「恵比須(えびす)」の人形の箱書きに弘化3年(1846)の紀年銘があり、現存する山車人形のうち年代が判明する最古の人形である。カシ禰宜(ねぎ)は、安永9年(1780)に新町(あらまち)の名主(なぬし)大塚又右衛門が、仙台の塩竈(しおがま)神社に参詣の際、カシ禰宜神楽を見て感動し、その地に足を留め習得して、帰郷後、祭礼での出し物とするようになったと伝えている。



町	鱒ヶ沢雪景図	絵画	1	H3.10.21	土岐蓑虫（1836～1900）は、美濃国（現在の岐阜県）に生まれ、幕末から明治にかけて全国を旅した放浪の画人。鱒ヶ沢には明治15年（1882）1月～4月まで滞在し、商家や寺院などに宿し多数の作品を残した。蓑虫の描いたこの水墨画は、冬の寂しさの中にも、やがて来る弁才船の賑わいを待つ当時の町の活気を感じさせる一幅である。
町	館地藏堂の板碑	考古資料	1	S58.4.20	舞戸町館地藏堂脇、南北朝時代（推定）。碑面には阿弥陀如来を表す梵字キリクが刻まれている。この集落は古くから館村と呼ばれ、集落の後背地丘陵上に中世の館跡があり、地名の由来ともなっている。
町	館の板碑	考古資料	1	H3.10.21	舞戸町館地藏堂脇、南北朝時代（推定）。碑面には阿弥陀如来を表す梵字キリクが刻まれている。集落内の斎藤ひさ宅で板碑と知らないままに保管されていたが、現在は移設され、館地藏堂の板碑に並んで建てられている。
町	無量庵跡の板碑	考古資料	1	S58.4.20	田中町無量庵墓地、南北朝時代（推定）。碑面には阿閼如来を表す梵字ウンが刻まれている。この場所は、江戸時代には墓地として利用され、高沢寺の墓守堂である無量庵（通称山寺コ）が建てられた。
町	松源寺の板碑	考古資料	3	S58.4.20	赤石町宇名原、南北朝時代（推定）。中央の板碑には、阿弥陀如来を表す梵字キリクが刻まれている。左側と右側の板碑は、梵字サで観世音菩薩を表す。
町	日照田の板碑（地藏堂横）	考古資料	2	S58.4.20	日照田町地藏堂脇、応安8年（1375）の年号あり。大黒天を表す梵字マが刻まれている。もう一方は年号不明で、梵字キリクは阿弥陀如来を表す。
	〃（一本松下）	考古資料	1	S58.4.20	野脇林道脇、1382年建立。阿弥陀如来を表す梵字キリクが刻まれている。
町	種里旧墓地の板碑	考古資料	1	S58.4.20	種里町臥竜院地藏堂横、南北朝時代（推定）。碑面の梵字は磨滅により不明である。この板碑は、元は種里村の旧墓地（集落の後方の山裾）にあったが、現在地に移設された。
町	永禄の墓石	考古資料	1	S58.4.20	中村町上栄山、永禄3年（1560）の記年銘がある「白雲院殿法山了受大居士」の墓石。この一帯は別所と呼ばれ、戦国時代に、津島筑後の館があったとされている。津島氏は津軽藩始祖・光信公の種里入部に従い、その後、赤石川流域の館前や中村川流域の別所の開拓にあたった。墓石は、子孫にあたる津島綱雄が明治17年（1884）に修復して建て直したと刻まれている。
町	種里八幡宮棟札	歴史資料	3	S58.4.20	種里町種里八幡宮、「光信公棟札（大永3年（1523））」「源経家再建棟札（永禄13年（1570））」「津軽為信再建棟札（慶長2年（1597））」種里八幡宮に現存する3枚の棟札。このうち光信公棟札については、「種里村八幡宮覚」（奈良家蔵）では早くから朽ち損じていたと記されており、また「太守光信公」と敬称が用いられていることから、後世に書きなおされたものと考えられる。
町	種里八幡宮身正体	歴史資料	2	S58.4.20	種里八幡宮社宝。奈良家（種里八幡宮神官）由緒書や伝承によると、初代・奈良主水貞親が、奈良の国から首につるして来たものとされている。2枚とも懸仏として用いられたとみられる。どちらも鉄製で、1枚には神官像、他の1枚には尊像をはめこんだとみられる穴がある。
町	種里八幡宮弓具	歴史資料	3	S58.4.20	種里八幡宮社宝。津軽為信が種里八幡宮再建の折に寄進したものと伝えられている。弓は朱漆に藤を巻いた優品。鎬矢2本は矢の先端に丸い笛がついていて、射ると音が出る仕掛けになっている。
町	種里八幡宮獅子頭	歴史資料	1	S58.4.20	種里八幡宮社宝。津軽為信が種里八幡宮再建の折に寄進したものと伝えられている。

町	白八幡宮絵馬群	歴史資料	42	H3.10.21	本町白八幡宮、絵馬42点。白八幡宮は、鯨ヶ沢総鎮守であり、日本海交易に関わる各地の船主や船頭から信仰を集めてきた神社である。拝殿には、その歴史を物語る絵馬42点が現存し、このうち最も古いものは、宝暦2年（1752）奉納の「武内宿禰図絵馬」である。船主らが奉納した船絵馬は12点あり、絵師の署名がある優品が多い。特に慶応元年（1865）奉納の「鯨ヶ沢湊図絵馬」は、鯨ヶ沢湊の沖に船3艘を描いた大型絵馬で、日本国内でも代表的な船絵馬の一つである。
町	白八幡宮玉垣	歴史資料	127	S58.4.20	本町白八幡宮境内、127基。文化13年（1816）、大坂の橋屋四郎兵衛らを発起人とし、御影石を海路運搬して建てられた。石工は、長州赤間関（現在の山口県下関市）の有光重兵衛が手がけた。玉垣の一本一本には、奉納者である大坂や北陸地方、鯨ヶ沢湊の船問屋らの名前が刻まれている。
町	常灯碑	歴史資料	1	S58.4.20	本町白八幡宮境内、江戸幕府は船舶の安全を図って各地の要津に「常灯明」（灯台）の設置を命ぜられ、鯨ヶ沢湊では、寛文9年（1669）、津軽藩により、白八幡宮境内に最初の常灯明が設けられた。その後、文政4年（1821）に常灯明は弁天崎に移転の際に石碑が建立された。近代になってから白八幡宮境内に移設された。
町	明和地震供養塔	歴史資料	1	H1.5.19	富根町延寿院墓地、明和8年（1771）建立。明和3年（1766）1月28日、津軽地方が大地震に襲われ、地震で亡くなった人を供養するため、鯨ヶ沢の船問屋・菊屋善右衛門が建立。元は本堂前にあったが、本堂建て直しの時に現在地（墓地）に移設された。
町	堀切沢の天明飢饉供養塔	歴史資料	1	S58.4.20	舞戸町小夜、文化6年（1809）建立。天明3～4年（1783～1784）の大飢饉は悲慘を極めた。鯨ヶ沢でも多くの死者があり、後年、その供養塔が建てられた。この供養塔は、鯨ヶ沢の船問屋・吉田源右衛門（三国屋）により建立されたものである。
町	岸文靖墓道表	歴史資料	1	H3.10.21	釣町法王寺墓地、弘化4年（1847）建立。天保10年（1839）頃から鯨ヶ沢で岸塾を開いた岸達仲（岸通）の徳を慕って、門人らによって建立された。「文靖先生」と贈名されており、五所川原の漢学者・飛鳥謙がその業績を記している。岸塾は常に数十人の門人が集まり、経済、医学を学んだという。その塾風は家族的雰囲気であったが、文靖の学問の深さに門人は深く傾倒し、勤勉、質素、礼讓、忍苦、従順等の教育目標がよく守られ、津軽地方では屈指の学塾と評価された。
町	日蔭塚	歴史資料	1	S58.4.20	舞戸町岩谷、天明3年（1783）建立。舞戸の俳人・保村晩杏らによって建てられた松尾芭蕉の句碑。芭蕉の「蝶の飛ぶばかり野中の日蔭かな」の句が刻まれている。碑の裏面には、句にちなんで「日蔭塚」と刻まれている。
町	保村晩杏句碑	歴史資料	1	S58.4.20	舞戸町岩谷、寛政7年（1795）建立。保村晩杏は、江戸時代後期に活躍した舞戸の俳諧宗匠。日蔭塚の建立に尽力した。俗名は備前屋保村善右衛門で、造酒業等を営んだ。晩杏は俳号である。寛政7年（1795）没。晩杏の句「草はつか蠅かくさぬ野中かな」を刻んだこの句碑は、舞戸、鯨ヶ沢の俳人らによって日蔭塚の隣に建てられた。
町	化石塚	歴史資料	1	S58.4.20	釣町来生寺境内、文政9年（1826）建立。小野化石は、津軽一帯で活躍した江戸時代後期の俳諧宗匠。鯨ヶ沢の釣町に住み、紺屋灰（染物のときに使う灰）等を商っていた。襲名して金兵衛を名乗っており、化石は俳号である。文政元年（1818）没。化石の句「磯山や四月の袖に桜散」を刻んだこの句碑は、元は堀切沢の丘の上に建てられていたが、倒れたまま放置されていたのを現在地に移した。

町	芭蕉塚	歴史資料	1	S58.4.20	七ツ石町高沢寺庭園、天保3年(1832)建立。高沢寺17世斯文和尚によって建てられた松尾芭蕉の句碑。斯文和尚は俳人としても知られる。大石武学流の造りである高沢寺庭園の池島に建っている。芭蕉の「名月や池をめぐりて夜もすがら」の句が刻まれている。この句碑は、その後、長い間土中に埋められていたが、大正5年(1916)に町内の俳人らの尽力により再建された。
町	禽翁齋宗全墓	歴史資料	1	S58.4.20	新町願行寺墓地。松本禽翁は、江戸時代中期から後期にかけて活躍した鱒ヶ沢湊の俳諧宗匠。京都の早川丈石一門の一人として名を知られた。安永5年(1776)に亡くなり、その墓石には辞世の句が刻まれているが摩滅して読めない。句は「身の躍まつ坂越えて彼岸かな」である。
町	塩越屋羽扇墓	歴史資料	1	S58.4.20	七ツ石町高沢寺墓地、安永8年(1779)建立。塩越屋羽扇は、江戸時代後期の鱒ヶ沢の俳人で松本禽翁の門下。塩越屋は新地町で遊郭を営んでいた。羽扇の俗名は不明である。菅江真澄の旅日記「にしきのはま」に出てくる塩越屋古燕は羽扇の妻女とみられる。安永8年(1779)に没しており、墓石には「本来にかへる姿や冬木立」の辞世の句が刻まれている。現在、墓は無縁墓となっている。
町	生駒睨員墓	歴史資料	1	S58.4.20	釣町来生寺墓地、文政11年(1828)建立。文政11年(1828)に亡くなった生駒睨員の辞世の句「穂すすきの中にともあり秋の蝶」を刻んだ墓石。生駒家は北陸の三国湊(現在の福井県)から鱒ヶ沢湊に移った一族で三国屋を名乗った。生駒家の一族の多くは船問屋を営み、松本禽翁門下の俳人として生駒猿澄、生駒鶯輝らがいた。睨員も同様の俳人であったとみられる。
町	豊島佳兮墓	歴史資料	1	S58.4.20	所在不明、安政3年(1856)建立。豊島佳兮は、江戸時代末期の鱒ヶ沢の俳人。のち弘前に移ったが、晩年になって鱒ヶ沢に戻った。本名は豊島泰中で、医師であった。高沢寺には、佳兮の辞世の句「枕せん極楽風の来んあたり」を刻んだ安政3年(1856)の墓石があった。ただし佳兮の没年は天保5年(1834)とされることから、安政3年は豊島家が墓を建立した年とみられる。
町	日和山の岩木山遥拝所碑	有形民俗文化財	1	S58.4.20	舞戸町小夜、安政5年(1858)建立。この場所は日和山と呼ばれ、船乗りが船を出すか否かを決める際に、日和を見る(天候を予測する)ために利用した所とされる。伝説によると、斉明天皇4年(658)から、水軍を率いて日本海を北上した阿倍比羅夫が北海道に渡るために日和を見た所ともされている。また、この場所は岩木山の遥拝所であり、旧暦8月1日のお山参詣に行けなかった人がここで岩木山を遥拝した。岩木山の形をした石は、安政5年(1858)に二丁目・米町の人々によって建立されたものである。
町	八衢神碑	有形民俗文化財	1	H3.10.21	石上神社石段脇、万延元年(1860)建立。八衢神とは、日本神話に登場する猿田彦神のことで、天孫が高天原から日向国(現在の宮崎県)に降臨した時に、天の八衢(道の迷いやすい所、沢山の分岐点)にたつて道案内したという故事による。この碑は、庚申塔、幸神塔、猿田彦大神碑と同じように、津軽地方で盛んであった庚申信仰により建てられたものである。

町	大然大山祇神社社標 (マタギ記念銘)	有形民俗文化財	1	S58.4.20	一ツ森町大然、大正10年(1921)建立。大山祇神社の社標側面にマタギの記念銘が刻まれている。マタギとは熊狩り等をする人のことで、赤石川沿いの一ツ森村・大然村のマタギ集団を昔から赤石マタギといった。大正10年(1921)に建立されたこの社標の側面には、大正3・4年に大熊6頭を狩った記念として、当時のマタギの名が刻まれている。裏面には、藩政時代以来のマタギの名が刻まれている。かつては神社前の一帯が大然村の集落であったが、昭和20年(1945)の大洪水により消滅した。
町	白八幡宮神輿渡御	無形民俗文化財	-	S56.5.21	白八幡宮大祭は、延宝5年(1677)に始まり、その後隔年の開催となつて明治10年代に一時中断、明治23年(1890)に復活した。大正時代からは4年に一度の開催となり、戦時中の一時自粛の後、昭和24年(1949)以降現在まで続けられている(日程:8月14~16日)。このうち神輿渡御行列は、藩政時代、日本海海運によつてもたらされた京風の様式であり、藩の御用湊として栄えた鱒ヶ沢の当時の面影を残す古式ゆかしい伝統行事である。往時そのままの姿が今日まで伝えられており、特に価値の高いものである。
町	正調鱒ヶ沢甚句	無形民俗文化財	-	S59.9.19	鱒ヶ沢町無形文化財保存会。古くは「甚句」「イヤサカ」と呼ばれ、鱒ヶ沢の盆踊りの前座に歌われ踊られていた。近代になり廃れていたが、昭和38年(1963)頃、当時の鱒ヶ沢公民館長・大沢清三氏らの呼びかけにより、富根町の小山内しなさんが伝承していた唄と踊りを保存することができたものである。戦後、成田雲竹と高橋竹山が編曲した新民謡「鱒ヶ沢甚句」に対して、「正調鱒ヶ沢甚句」と名付けられた。正調鱒ヶ沢甚句は、鱒ヶ沢くどきとともに、津軽地方の甚句やよされの元唄とも言われており、また北海道民謡にも影響を与えたとされている。
町	鱒ヶ沢くどき	無形民俗文化財	-	S59.9.19	鱒ヶ沢町無形文化財保存会。古くから鱒ヶ沢の盆踊りで歌われ踊られていた。くどきの歌詞は「新地狐のくどき」である。昔、鱒ヶ沢の盆踊りは新地の遊郭を中心に行われていた。お盆の夕暮れ、踊り手たちはまず新地の近くにある永昌寺に集まり、イヤサカ(正調鱒ヶ沢甚句)から踊り始め、夜にはくどきが踊られた。くどきは一夜を通して踊られることもあったという。戦後、ほとんど歌う人がいなくなって一時途絶えたが、当時の鱒ヶ沢公民館長・大沢清三氏らによって復興された。鱒ヶ沢くどきは、正調鱒ヶ沢甚句とともに、津軽地方の甚句やよされの元唄とも言われている。
町	目内崎獅子舞	無形民俗文化財	-	H3.10.21	目内崎獅子舞保存会。目内崎獅子舞は古くから伝えられてきたが沿革は定かではない。一説によれば、大浦光信が種里城築城の際、領地内の平和と繁栄、五穀豊穡を祈って、都から役行者を招いて村人に伝授したのが始まりともされる。戦後、後継者難が続き、平成元年頃には獅子舞を知る人が1~2名となった。平成2年(1990)10月、光信公入部500年祭に参加するため保存会を結成し、練習を重ねて復興したものである。
町	赤石の追分碑	史跡	1	S58.4.20	赤石町宇名原、安政2年(1855)建立。西浜街道(弘前~大間越)沿いにある赤石の追分碑は、大間越通と赤石沢目通の分岐点を示している。その後、明治時代に能代道の道路改修工事が行われたため、大正4年(1915)に新たな銘文が加えられた。
町	田村麻呂の腰掛石	史跡	1	S58.4.20	本町白八幡宮境内。白八幡宮は、大同2年(807)、坂上田村麻呂が蝦夷降伏祈願所として創建し、太刀と白旗八流を奉納したのが始まりと伝えられる。その後、康元元年(1256)に鎌倉幕府の執権北条時頼が社殿を再建し、さらに慶長8年(1603)に津軽藩の初代藩主津軽為信が再建したとされている。この石は、古くから田村麻呂将軍が腰をかけた石として言い伝えられてきている。

町	公墓跡	史跡	2	S58.4.20	南浮田町、塚墓跡「公墓」「姫墓」。「公墓」は、一説では身分の高い貴族の墓とされている。集落には公墓長兵衛という家があり、代々この場所の管理にあたったという。塚は盗掘によって荒らされ、中央に大きな穴が掘られていた。平成10年、塚を復元整備し、三つに折れていた墓石を再建した。一方、鳴沢川対岸の丘陵上（旧鳴沢小学校西端）に「姫墓」があり、男女の魂がお互いに慕いあって夜毎に行き来したとも伝えられる。姫墓は校舎建築により破壊され、現在は復元されている。
町	鬼神神社のクロマツ	天然記念物	1	S62.8.20	建石町鬼神神社境内、樹齢400年以上
町	願行寺のクロマツ	天然記念物	1	S62.8.20	新町願行寺境内、樹齢300年以上
町	松源寺のクロマツ・ケヤキ	天然記念物	3	S62.8.20	赤石町宇名原松源寺境内、樹齢400年以上
町	石神社のクロマツ・セン	天然記念物	3	S62.8.20	建石町石神社境内、セン（ハリギリ）は落葉高木、樹齢300年以上
町	中村久須志神社のスギ	天然記念物	2	S62.8.20	中村町久須志神社境内、ともに周囲4.7mで樹齢600年以上
町	種里八幡宮のスギ	天然記念物	4	S62.8.20	種里町種里八幡宮境内、樹齢約500年
町	種里御廟所のスギ・アカマツ	天然記念物	9	S62.8.20	種里町「種里城跡」御廟、樹齢約500年
町	日照田高倉神社のイチョウ	天然記念物	1	S62.8.20	日照田町高倉神社境内、樹齢約800年
町	来生寺のイチョウ	天然記念物	1	S62.8.20	釣町来生寺境内、樹齢400年以上
町	一ッ森のサイカチ	天然記念物	1	S62.8.20	一ッ森町、マメ科サイカチ属の落葉高木、この地方では珍しい、樹齢約150年
町	細ヶ平のイチイ	天然記念物	1	S62.8.20	深谷町細ヶ平、別名「オンコ」、樹齢約300年
町	蓬平のイチイ	天然記念物	1	H15.10.24	芦菴町下菖蒲沢、別名「オンコ」、樹齢約600年

## まちのあゆみ

この地にいつ頃から人々が暮らしていたのか定かではありませんが、町のほぼ全域から、縄文時代前期から後期にかけての遺物が多数出土していることや、三内丸山遺跡に匹敵すると言われている餅ノ沢遺跡からは住居跡などが発見されていることから、この時代の頃には既に人々が暮らしていたと考えられています。

延徳3年（1491年）に、津軽藩の始祖と仰がれる大浦光信公が種里の地に入部し、以来、その名を歴史の舞台にとどめることとなります。また、「鯉ヶ沢」の地名が文献上で表れるものとしては、「津軽郡中名字」（1536年）という記録が最も古いものとされています。

藩政時代には、津軽藩の御用港として全国各地を結ぶ北前船で賑わいを見せ、その名残の上方文化が今も数多く人々の生活に受け継がれています。しかしその後、廃藩置県（1871年）、陸上交通の発達などによって、港は漸次衰退するところとなり、次第に海上輸送の拠点から漁業の拠点へと移行していきます。

明治22年（1889年）には、市制・町村制の施行に伴い、弘前の市制施行とともに、鯉ヶ沢、青森、黒石、八戸、三戸が町村制を施行しました。以来、津軽西部の政治、経済の中心地として歩みを続けてきました。その後、昭和30年（1955年）に、鯉ヶ沢町、舞戸村、赤石村、中村、鳴沢村の1町4ヶ村が合併して、現在の鯉ヶ沢町が誕生しました。町村合併によって、町の性格も漁業主体の産業構造から、農林漁業の食料総合生産地としての機能を整えることとなりました。

昭和58年（1983年）には、津軽地域経済の活性化の起爆剤として、また将来の日本海交易の拠点として七里長浜港の着工が実現し、平成9年（1997年）には、5,000トン級岸壁及び公共埠頭の一部供用が開始となり、貨物船や豪華客船が入港するなど利活用が進み、津軽地域振興に寄与しています。

また、岩木山などの豊富な自然環境に恵まれていることから、観光リゾート地としての整備も進められ、津軽岩木リゾート構想の重点整備地区である長平地区には、平成元年（1989年）に民間資本による鯉ヶ沢スキー場（現：青森スプリング・スキーリゾート）がオープン。また、平成6年（1994年）には、鯉ヶ沢高原ゴルフ場（現：青森スプリング・ゴルフクラブ）と、鯉ヶ沢プリンスホテル（現：ロックウッド・ホテル&スパ）がオープンするなど、一年を通してアウトドアスポーツが楽しめるようになりました。

更に平成5年（1993年）に、世界最大級のブナ原生林を有する白神山地が世界自然遺産に登録され、平成9年（1997年）には、白神山地の一部でもありブナの森を気軽に楽しむことができるブナ林散策ゾーン「ミニ白神（現：白神の森 遊山道）」がオープン。そのほかにも白神山地関連の様々な施設整備が進み、自然環境との共生や体験学習・観光の面においても県内外から大きな注目を集めています。一方、平成14年（2002年）には、鯉ヶ沢相撲館～舞の海ふるさと棧敷～を有する、海の駅「わんど」がオープン。あじがさわならではの農産物直売所「あじ・彩・感」をはじめ、新鮮な魚介類の販売など、地域特性を活かした活力ある産業振興の拠点として賑わいを見せています。

現在我が町は、過疎化とそれに伴う少子高齢化対策、そしてインターネットの普及による高度情報化への対応など多くの課題を抱えています。そのような時代の中、わたし達は、先人たちの努力と挑戦の歴史に学び、長いあゆみの中で培われ継承してきた知恵とその可能性、そしてかけがえのない我が町固有の地域資源を大いに活用して、「世界自然遺産・日本遺産 豊かな自然と歴史息づくまち」をスローガンに、魅力ある地域づくりを目指しています。

## まちの歴史年表

昭和30年 (1955年)	● 3月	新生鯉ヶ沢町誕生（鯉ヶ沢町、赤石村、中村、鳴沢村、舞戸村が合併）
	5月	初代町長に山屋辰夫氏当選
	8月	長平小学校校舎新築
	9月	町内一周駅伝大会開催
昭和31年 (1956年)	● 4月	町立鯉ヶ沢保育所新築
	5月	財政再建団体に指定される
	7月	国道101号線舗装工事開始（500m）
	9月	中村公民館新築
	10月	行政駐在員制度生まれる
	11月	町総合文化祭開催
昭和32年 (1957年)	● 6月	第一期町道整備計画策定
	8月	白八幡宮大祭
	10月	海上保安部分室解説巡視船「いそなみ」配置
	12月	舞戸小学校校舎移転新築
昭和33年 (1958年)	● 4月	新戸籍法施行により夫婦単位に編纂
	6月	鳴沢診療所増改築
	8月	集中豪雨で各地に水害発生、被害2億5千万円
昭和34年 (1959年)	● 1月	赤石小学校校舎移転新築
	2月	南金沢小学校深谷分校新築
	4月	町長選挙で山家辰夫氏二期目当選 ・国民健康保険事業開始
	5月	中村橋、長間瀬橋竣工
	11月	国民年金実施
昭和35年 (1960年)	● 5月	岩木山麓開発計画実施段階に入る ・深谷大火（38棟焼失）

昭和36年 (1961年)	● 5月	赤石地区西海岸農地開発特定地域に編入
	8月	鬼袋で住家12、非住家15棟全焼
	9月	白八幡宮大祭
	9月	種里で住家9、非住家9棟全焼 ・除木吊橋解体
昭和37年 (1962年)	● 4月	上水道給水開始
	5月	町立中央病院開院
	7月	鳴沢統合中学校新築（第一鳴沢中、東鳴沢中）
昭和38年 (1963年)	● 3月	西海小学校校舎地すべり一部崩壊
	4月	町長選挙で中村清次郎氏当選
	10月	西地方農林事務所設置
昭和39年 (1964年)	● 4月	西北福祉事務所分室設置
	5月	移動県庁西海小で開催される ・鯉ヶ沢観光協会設立
	6月	町総合開発審議会設置
	7月	津軽華子様御成婚記念墓参のため来町 ・赤石奥地森林、観光資源調査
	10月	芦荻小中学校新築
	12月	中村児童館新築 ・舞戸小学校体育館新築
昭和40年 (1965年)	● 2月	帰郷勤労青少年激励大会開催
	3月	町章決まる
	8月	町村合併10周年記念式典挙行 ・白八幡宮大祭
	10月	鯉ヶ沢、青森間直通準急「岩木号」運行

昭和41年 (1966年)	● 3月	種里へき地保健福祉館新築
	5月	長平線(建石経由)定期バス運行
	10月	組合立し尿処理完成(轟木)
	11月	町立中央公民館完成
昭和42年 (1967年)	● 4月	組合立消防本部設置消防署新築 ・町長選挙で中村清次郎氏二期目当選
	10月	町営塵芥処理場完成(北浮田)
	11月	町営火葬場移転新築(北浮田)
昭和43年 (1968年)	● 3月	鯉ヶ沢町農業協同組合設立(舞戸、鳴沢中央合併)
	4月	種里地区簡易水道給水開始
	5月	十勝沖地震発生
	7月	鯉ヶ沢税務署五所川原に統合される
	10月	鯉ヶ沢電報電話局開設、ダイヤル通話開始 ・長平地区簡易水道給水開始
昭和44年 (1969年)	● 3月	行政機構改革による各支所の廃止 ・成人式を春分の日を実施
	6月	町立幼稚園開園
	8月	白八幡宮大祭
昭和45年 (1970年)	● 4月	鯉ヶ沢町総合開発計画策定
	5月	西海小学校移転新築(小夜)
	9月	県内各市町村と県庁を結ぶ防災行政無線電話システム完成 ・農林産物加工工場操業
昭和46年 (1971年)	● 12月	山村振興対策事業指定(中村)
	● 1月	農業者年金発足
	3月	肉豚繁殖肥育センター完成
	4月	町長選挙で中村清次郎氏三期目当選(「2人町長事件」) ・過疎振興地域指定を受ける
	9月	鯉ヶ沢町児童公園開設 ・赤石小学校体育館新築
昭和47年 (1972年)	● 11月	小の畑生活改善センター完成 ・わかめ養殖事業試験
	● 3月	鯉ヶ沢第一中学校統合校舎新築(芦苞、第二松代、中村、鳴沢、長平、舞戸)
	6月	新庁舎起工式
	7月	豪雨で赤石川流域に大被害(25億円)
	10月	ホタテ養殖事業着手 ・芦苞地区簡易水道給水開始
昭和48年 (1973年)	● 11月	舞戸老人憩いの家完成
	● 4月	新庁舎完成
	8月	町土地開発公社設立 ・白八幡宮大祭
昭和49年 (1974年)	● 11月	芦苞へき地保健福祉館完成 ・S L「8260型蒸気機関車」借受常設展示
	● 4月	長平生活改善センター完成
昭和50年 (1975年)	● 7月	長平青少年旅行村オープン ・県試験船「東奥丸(134トン)」竣工
	9月	町商工会館完成
	10月	町体育協会が「社会体育優良団体」で文部大臣賞
	● 1月	建石老人憩いの家完成
	2月	岩木町と行政境界変更協定書調印
昭和51年 (1976年)	● 4月	町長選挙で齋藤禮次郎氏当選
	6月	大然養殖センター完成
	7月	集中豪雨で被害3億5千万円
	8月	町村合併20周年記念式典挙行
	10月	第32回あすなろ団体ライフル競技会場に決定 ・鯉一中屋外プール完成
	11月	前町長中村清次郎氏死去
	12月	中村保育所完成
	● 1月	南金沢生活改善センター完成
	3月	鯉ヶ沢中学校で火災校舎半焼 ・都市計画用途地域決定
	6月	県農林合同庁舎完成
昭和52年 (1977年)	● 7月	県水産試験場完成
	8月	第31回県民体育大会「町の部」総合優勝
	9月	ライフル射場完成 ・全日本社会人選手権大会開催
	10月	津軽藩始祖大浦濃守光信公450年祭 ・南金沢生活改善センター完成
	11月	鳴沢地区簡易水道一部給水開始
	12月	漁協ひらめ活魚施設完成
	● 1月	長平高原で映画「八甲田山」ロケ始まる ・豪雪対策本部設置 ・中村地区簡易水道給水開始
	3月	山村開発センター完成
	4月	鯉ヶ沢第二中学校統合校舎新築(鯉ヶ沢、赤石、南金沢)
	8月	浜横沢生活改善センター完成 ・集中豪雨で舞戸地区小河川氾濫 ・第32回県民体育大会二連勝 ・白八幡宮大祭
昭和53年 (1978年)	● 10月	第32回あすなろ国体ライフル競技開催
	11月	鳴沢保育所完成 ・細ヶ平生活改善センター完成 ・鳴沢地区簡易水道全面給水
	● 5月	青森県植樹祭が大高山会場で実施
	6月	町議会議員定数を4名削減して22名とする
	7月	国道101号バイパス工事始まる ・鯉ヶ沢塵芥処理場完成(20トン/日) ・青少年旅行村にアスレチック設置
昭和54年 (1979年)	● 11月	赤石バイパス完成(6年と10億円) ・中学生模擬議会開催(54年、55年)
	12月	鯉ヶ沢保育所完成 ・赤石、小森、一ツ森林業センター完成
	● 1月	大高山スキー場開設
	4月	町制施行90周年記念式典挙行 (町民憲章・歌の制定、町の花・木・鳥を指定) ・特別豪雨地帯の指定を受ける ・町長選挙で齋藤禮次郎氏無投票で二期目当選
	5月	勤労青少年ホームオープン
昭和55年 (1980年)	● 7月	赤石地区漁港着工
	11月	町文化賞制度制定 ・北浮田公民館完成 ・長平保育所完成
	● 2月	大高山スキー場ナイター設備完成
	3月	定数削減後初の町議会議員選挙(定数22名) ・南金沢小学校校舎完成
	8月	知事と語る会開催 ・県営赤石川サケ、マスふ化場完成 ・第33回県民体育大会4年ぶり3度目の優勝
昭和56年 (1981年)	● 9月	冷害対策本部設置
	11月	韓国船「新羅丸(840トン)」遭難 ・<冷害の年である>
	● 1月	豪雪対策本部設置(145cm)
	2月	鳴沢農業実習センター完成(小屋敷)
	4月	中下農村婦人の家完成 ・過疎振興町村から脱却、経過措置団体となる ・へき地巡回診療開始(長平、第二松代、深谷)
昭和57年 (1982年)	● 5月	鯉ヶ沢高校相撲部金沢大会で優勝 ・勤労者体育館オープン ・中村川にサケの稚魚100万尾放流

	6月	「幻の県道」起工式（松代町陸奥赤石停車場線）
	7月	赤石溪流暗門の滝県立自然公園指定 ・はまなす公園オープン
	8月	白八幡宮大祭 ・台風15号直撃被害10億円
	9月	町民野球場、プール完成（鳴沢地区） ・冷害対策本部設置
	10月	町立中央病院移転新築
	12月	誘致企業広瀬被服鯉ヶ沢工場オープン ・＜二年続きの冷害＞
昭和57年 (1982年)	● 1月	中村小学校校舎完成
	4月	防災行政無線放送開始 ・津軽新港（七里長浜港）鳴沢地区に内定
	7月	憩いの運動広場（相撲場、ライフル射場、テニスコート、トレーニング室）完成
	12月	赤石川上鮭の採捕によるふ化開始 ・製氷・荷捌施設完成 ・種里地区農村集会所完成
昭和58年 (1983年)	● 2月	鯉ヶ沢高等学校校定時制閉校 ・赤石川土地改良事業完了 ・上水道二次拡張工事完了（浄水場外） ・漁業者研修センター完成、試験船「青鵬丸」竣工
	4月	町長選挙で齋藤禮次郎氏三期目当選
	5月	日本海中部地震発生（26日正午）マグニチュード7.7、震度5（津波で3人死亡、被害83億円）
	7月	はまなす会館完成
	8月	第38回県民体育大会で3年ぶり4度目の優勝 ・七里長浜港起工式挙行 ・成人式を夏型に移行 ・第1回鯉ヶ沢基旬全国大会開催
	9月	舞戸公民館、ショッピングセンター「バル」オープン
	10月	第一回むつ湾一周駅伝開催 ・鯉ヶ沢水泳協会「社会体育優良団体」として文部大臣賞受賞
昭和59年 (1984年)	● 1月	豪雪災害対策本部設置
	2月	サケの遡上が目だって多くなる
	4月	岩木山スキー場開発に注力 ・元町長山屋辰夫氏死去
	5月	火災発生率異常に高くなる ・防災訓練の日（26日）鯉ヶ沢、舞戸地区で訓練実施 ・鯉ヶ沢駅開業60周年記念式典
	8月	野菜予冷施設完成（長平）
	10月	赤石川サケ捕獲施設完成 ・ブラジル国サンパウロ州サンセバスチオン市と姉妹都市締結
	11月	鯉ヶ沢町史発刊（全3巻） ・赤石溪流に青岩展望所完成
	12月	都市計画街路古川一袋町線立体交差橋暫定的に供用開始 ・西海岸衛生処理組合し尿処理場完成
昭和60年 (1985年)	● 7月	新イベント「魚魚の火祭り」開催 ・建石小学校新築完成
	8月	町村合併30周年記念式典挙行 ・白八幡宮大祭 ・県民体育大会町の部で2年ぶり5度目の優勝
	9月	台風13号でリンゴ等到大被害（約4億円）
	10月	漁港関連道「みずや大橋」、古川袋町線「あじがさわ跨線橋」完成
昭和61年 (1986年)	● 1月	豪雪災害対策本部設置（182cm）〈戦後最高の積雪〉
	7月	第1回クォーターライアスロン開催

	10月	第1回鯉ヶ沢地区消防フェスティバル開催 ・＜火災多発＞
昭和62年 (1987年)	● 2月	七里長浜港建設に伴う漁業補償について、鯉ヶ沢漁協と県が協定書に調印
	4月	町長選挙で齋藤禮次郎氏四期目当選
	9月	第1回赤石溪流まつり開催
昭和63年 (1988年)	● 2月	豪雪災害対策本部設置（146cm） ・春秋林道建設に伴う白神山系ブナ原生林保護運動が活発化
	7月	西海小学校で48人が食中毒 ・青函博開幕（7/9～9/18）
	12月	天皇陛下容体悪化で自粛ムード広がる
昭和64年 平成元年 (1989年)	● 1月	昭和天皇崩御（7日）
	● 1月	元号が「平成」と改まる（8日）
	3月	「幻の魚イトウ」養殖施設完成で企業化
	4月	町制施行100周年を迎え「21世紀へのアプローチ」をテーマに記念事業を展開 ・消費税スタート
	6月	町制施行100周年記念式典挙行（12日）
	8月	白八幡宮大祭
	9月	港町未来フォーラム'89開催
	10月	青年海外派遣団ブラジル訪問（姉妹都市提携5周年）
	12月	鯉ヶ沢スキー場オープン
平成2年 (1990年)	● 3月	明るい選挙推進協議会が全国表彰（優良団体） ・イメージソング「ウエストコーストの風を」作製
	4月	過疎地域に指定される ・地・家裁鯉ヶ沢支部が廃止される ・「くろくまの滝」日本の滝100選に選ばれる
	6月	あじがさわアカデミー開学 ・光信公の館オープン
	7月	青年及び各界海外派遣団ソ連訪問
	9月	第3次鯉ヶ沢町総合開発計画策定
	10月	光信公入部500年祭（銅像建立） ・鯉ヶ沢駅前広場整備（モニュメント建立） ・プロモーションビデオ作製
	11月	都市計画街路駅前一部完成 ・鯉ヶ沢駅前広場（モニュメント）完成
	12月	日本海拠点館構想発表
平成3年 (1991年)	● 1月	町行政事務OA化スタート
	2月	舞の海十両昇進祝賀会開催 ・WE LOVE あじがさわ運動推進協議会発足 ・極東ソ連からダニリュク議長来町
	3月	あじがさわアカデミー顧問坂田二郎逝去
	4月	町長選挙で齋藤禮次郎氏五期目当選 ・町イメージキャラクター「アジ丸」デビュー
	6月	収入役一戸恒祐氏逝去 ・町プロモーションビデオ販売開始
	7月	ブラジルへ鯉ヶ沢高校相撲選手団を派遣、サンセバスチオン市等訪問 ・青年及び青少年少女海外派遣団を極東ソ連に派遣
	8月	全国高校総体相撲競技で鯉高日本一
	9月	台風19号でリンゴ家屋など大被害（約6億5千万円）
	10月	収入役に三浦一栄氏就任
	11月	西海岸リゾート観光戦略フォーラム開催
平成4年 (1992年)	● 2月	ロシア語講座開講、講師にナターリア・N・クスメンコ女史を迎える
	3月	町議会選挙22人選出
	6月	アーバンルネッサンス21委員会発足
	7月	白神山地区が自然環境保全地域に指定
	8月	ウラジオストク市から東洋語学校生徒ら12名来町



平成5年 (1993年)	●	9月	第2回青森県豊かな海づくり大会開催
		11月	町立中央病院開院30周年記念式典挙行
		2月	「幻の魚イトウ」全国出荷開始 ・役場完全週休2日制実施
		3月	鱈ヶ沢高校家政科が閉科
平成6年 (1994年)		4月	一般廃棄物最終処分場操業開始
		7月	北海道南西沖地震発生 (12日)
		8月	少年少女海外派遣団を極東ロシアに派遣 ・第1回ふるさとあじがさわ再発見バスツアー実施 ・収入役に加藤行男氏就任 ・白八幡宮大祭
		10月	冷害により県水稻作況指数28、戦後最悪の大凶作
		12月	白神山地が世界遺産に登録決定
		3月	高波により送水管破損で鱈ヶ沢、舞戸地区断水 (22～24日) ・「ごみ問題を考える町民集会」開催
		5月	齋藤町長がブラジルからビスコンデ・マウア文化 功労子爵章を受賞
		6月	鱈ヶ沢鮮魚センター「ととまるしゅ」オープン (3日)
		7月	中村川ふれあい公園完成 (12日) ・舞の海関が小結に昇進 ・ウラジオストク市から東洋語学校生徒ら16名来町 ・鱈ヶ沢プリンスホテル、鱈ヶ沢高原ゴルフ場オープン (30日)
		8月	町長、議長がブラジル国サンセパシオン市を訪 問(姉妹都市提携10周年) (18～20日)
		10月	長平青少年旅行村ログハウス15棟完成(バンガ ロー40棟新築) ・ブラジル国サンセパシオン市から市長ら一行 来町 (17～20日) ・白神山地めぐりバスツアー実施
平成7年 (1995年)	●	11月	七里長浜港北防波堤締結記念祝賀会開催される (4日) ・北前千石船模型 (10分の1)引渡式挙行
		1月	舞戸小学校新校舎完成 (12日) ・一ツ森テレビ中継局開局 (24日)
		3月	鱈ヶ沢地区簡易水道事業完了 (13日より稼働)
		4月	町村合併40周年記念式典挙行 (1日) ・町長選挙で齋藤禮次郎氏無投票で6期目当選 ・長平青少年旅行村オートキャンプ場オープン (28 日)
平成8年 (1996年)		7月	鱈ヶ沢町斎場移転新築(舞戸町字西阿部野134- 38) ・ロシア、ウラジオストク市へ町職員2名を派遣 (6日～8月31日、8月27日～10月26日)
		11月	日本海拠点館建設工事着工
		2月	鱈ヶ沢町スポーツセンター室内温水プールオープ ン (13日) ・「鱈ヶ沢町行政改革大綱」策定 (9日)
		4月	ロシア語講師ナターリア・N・クズメンコ女史帰 国
		5月	町民水泳記録会開催 (5日) ・自然観察館ハロー白神、白神キャンプ場、白神 さん家オープン (27日)
		6月	助役石岡道男氏退任 (17日)
		7月	ブラジルより相撲連盟幼年相撲研修団、ロシア よりウラジオストク市少年少女訪問団来町 (28日 ～8月5日)
		9月	助役に井上豊光氏就任 (19日)
		11月	教育長に福田真弘氏就任 (1日) ・七里長浜港5000トン級岸壁及び埠頭完成

平成9年 (1997年)	●	3月	鱈ヶ沢町総合保健福祉センターの起工式開催 (24日) ・アユ種苗生産施設完成
		4月	鱈ヶ沢町役場機構改革実施 (1日)
		5月	大高山総合公園一部供用開始 (1日)
		6月	七里長浜港に第1船入港 (11日) ・ミニ白神オープン (17日)
平成10年 (1998年)		7月	七里長浜港2000トン級岸壁1バース及び埠頭完成 ・七里長浜港公共埠頭完成供用開始記念式典挙行 ・七里長浜港公共埠頭完成供用開始記念「日本海ク ルーズ&極東ロシアの旅」実施 (14日～20日)
		8月	日本海拠点館・あじがさわ落成記念式典挙行 (20 日) ・白八幡宮大祭
		1月	農業経営会館アグリビジネスホール修祓式及び落 成記念祝賀会開催 ・アユ中間育成施設完成
		3月	町防災行政無線新システム開局 (1日) ・鱈ヶ沢町総合保健福祉センター竣工式 (26日)
		4月	鱈ヶ沢町総合保健福祉センターオープン ・町立学校給食センター完成、安全祈願祭 (6日) ・JA鱈ヶ沢町、JA赤石村、JA中村町が合併し、 「JAあじ白神」設立 ・光信公の館「やかたの売店」新装オープン (20 日)
		6月	民間国際グループ「KEC (Kids English Club) こども未来」による英会話教室開設
		7月	ウラジオストク市東洋語学校生徒ほか来町 (9日)
		8月	日本海拠点館開館一周年記念シンポジウム開催 (22日)
		9月	七里長浜港供用開始一周年記念「日本海・津軽海 峡体験クルーズ」実施 (14日～15日) ・豪華客船「ふじ丸」七里長浜港初入港 (14日) ・豪華客船「にっぽん丸」七里長浜港初入港 (17 日) ・日本沿岸域学会第11回シンポジウム開催
		11月	中村公民館新築工事に棟上 (5日) ・第5回全日本スノーボード選手権大会」に向け 町で実行委員会を組織、設立総会開催
	平成11年 (1999年)		12月
●		2月	「鱈ヶ沢町地域振興券」配布 (28日～)
		3月	FIS公認第5回全日本スノーボード選手権大会開催 (5日～7日) ・「鱈ヶ沢町景観形成基本方針」策定 ・中村公民館新築
		4月	町制施行110周年記念事業「港町未来フォーラム 99 in 日本海拠点館」開催 (4日) ・町長選挙で長谷川兼己氏当選
平成12年		7月	七里長浜港に豪華客船「ふじ丸」入港、利尻島 ・礼文島クルーズ (23日～26日)
		8月	七里長浜港県営上屋新築工事安全祈願祭 (5日)
		9月	助役に菊地隆氏就任 (20日) ・小夜、日照田町をモデル地区に、資源ゴミの 試験回収実施
		11月	西海岸衛生処理組合粗大ゴミ処理施設建設工事安 全祈願祭 (2日) ・アオモリミュージックフェスティバル (AMF) 開催 (青森市、鱈ヶ沢町) (5日～9日)
		12月	鱈ヶ沢漁協婦人部作「海の幸弁当」が国土庁「食 アメニティ・コンテスト」において、準大賞・農

平成12年 (2000年)	●	1月	林水産大臣賞受賞 ・ 鱈ヶ沢町行政改革大綱改定	
	2月	七里長浜港県営上屋オープン		
	3月	魚魚の火祭り・冬物語初開催 (12日) FIS公認第6回全日本スノーボード選手権大会開催 (3日～5日)		
	4月	「介護保険制度」スタート		
	5月	舞の海断髪式 (27日) ・ アユ養殖施設完成 ・ 鱈ヶ沢町墓地公園分譲開始 ・ ふるさとばんざい西海岸実行委員会主催「白神春もみじ祭り」開催 (ミニ白神) (28日) ・ 小学校低学年を対象に学童保育スタート		
	6月	産経新聞社主催「第71期棋聖戦5番勝負第2局」開催 (谷川浩司棋聖対羽生善治四冠王) (24日)		
	7月	天童山趾跡公園オープン ・ 七里長浜港へ「シルバー・アロー号」が、外航貨物船としては初入港 ・ 山田千里・福土りつ顕彰碑建立15周年記念コンサート (23日) ・ 白神大然河川公園オープン		
	9月	アオモリミュージックフェスティバル (AMF) 開催 (青森市、鱈ヶ沢町) (11日～17日) ・ 七里長浜港に豪華客船「ふじ丸」入港、鱈ヶ沢/青森ワンナイトクルーズ (15日～16日)		
	10月	介護保険料の徴収開始 ・ 協働のまちづくりを目的に町政懇話会開催 (~11月)		
	11月	町職員研修を兼ねた「まちづくり講演会」開催 (講師：群馬県太田市長清水聖義氏)		
	12月	～みんなで描こう21世紀のあじがさわ～をスローガンに「まちづくり町民会議」開催 (~13年3月)		
	平成13年 (2001年)	●	2月	「第14回花咲翁の集いinつがる」開催 (9日、10日)
3月		FIS公認第7回全日本スノーボード選手権大会開催 (1日～4日) ・ 町内中学生を対象に「白神フォーラム」開催 (19日)		
4月		ごみ12分別開始 ・ エコクリーン・アファイ操業開始 ・ 大高山総合公園全施設完成後初オープン (28日) ・ 「青森・赤石川の金の鮎」商標登録		
6月		鱈ヶ沢町高齢者安心住宅開設 (1日)		
7月		第16回「海の祭典」開催 (20日～29日) ・ 七里長浜港に豪華客船「ふじ丸」入港、海の祭典 ・ 記念クルーズ「函館ワンナイトクルーズ」 (20日～21日) ・ 県内初水中斜め打ちスターマインなどの花火大会 (20日)		
8月		白八幡宮大祭 ・ 鱈ヶ沢基句全国大会 (15日)		
10月		町職員研修を兼ねた「まちづくり講演会」開催 (講師：ほのぼの地球家族主宰東文子氏) ・ アオモリミュージックフェスティバル (AMF) 開催 (青森市、鱈ヶ沢町) (31日～11月4日)		
11月		第4次鱈ヶ沢町長期総合計画策定		
12月		町と町内会連絡協議会共催「まちづくり講演会」開催 ・ 芦薮小学校閉校式 (2日)		
平成14年 (2002年)		●	1月	鳴沢小学校山田野分校閉校式 (12日)
		2月	西北五市町村合併共同研究会設立	

平成15年 (2003年)	●	3月	「第5回アジア冬季競技大会青森2003」のリハール大会開催 ・ FIS公認第8回全日本スノーボード選手権大会 (21日～24日) ・ 2002東北ブロックフリースタイルスキー・モーグル選手権大会 (30日～31日) ・ 鳴沢小学校山田野分校閉校 ・ 芦薮小学校閉校	
	4月	鱈ヶ沢浄化センターオープン ・ 農産物直売所「あじ・彩・感」設立総会 (12日) ・ あじがさわ白神山地ガイド倶楽部結成 (27日)		
	5月	収入役に太田豊氏就任 ・ 西海岸市町村合併研究会設置 (2日)		
	6月	白神・ツーリズム実行委員会設立 (6日) ・ 「白神山地ブナ植樹フェスタin赤石川」開催 (22日) 海の駅「わんど」オープン (29日)		
	7月	アジア冬季競技大会青森2003鱈ヶ沢地区運営本部設置 (1日) ・ 西津軽八町村合併研究会設置 (8日)		
	8月	住民基本台帳ネットワークシステム一部稼働 (5日) ・ あじがさわミュージックフェスティバル (amf) ミュージックキャンプ (3日～9日) ・ 大雨による土砂崩れや水路の決裂、水田の冠水などの被害 (11日)		
	9月	七里長浜港に豪華客船「ふじ丸」入港、金沢加賀百万石クルーズ (8日～10日)		
	10月	鱈ヶ沢相撲館～舞の海ふるさと枝敷～オープン (1日) ・ 国道101号鱈ヶ沢バイパス全線開通式典 (9日) ・ 岩木山一周桜植樹～めざそう世界一の桜並木～ (26日)		
	11月	長平小学校閉校式 (3日) ・ 種里城趾が国史跡指定に決定 (15日) ・ 西海岸三町村合併推進協議会設置 (22日) ・ 県内初市民参加型風力発電所建設決定 ・ 町民対象説明会 (13日) ・ 安全祈願地鎮祭 (18日) ・ 一ツ森小学校閉校式 (24日)		
	12月	深谷小学校閉校式 (1日)		
	平成16年 (2004年)	●	2月	第5回アジア冬季競技大会 (スノーボード・フリースタイルスキー) (2日～6日)
		3月	深谷小学校閉校 ・ 長平小学校閉校 ・ 一ツ森小学校閉校	
4月		鱈ヶ沢市民風車「わんず」竣工式 (4日) ・ 赤石公民館落成式 (5日) ・ 町長選挙で長谷川兼己氏二期目当選		
8月		あじがさわ遊々の森締結 (1日) ・ 「シルバー人材センター」設立 (28日)		
9月		七里長浜港に豪華客船「ふじ丸」入港、神秘の富山クルーズ (6日～8日) ・ 助役に太田豊氏就任 ・ 「第8回北前船市町村長サミット」開催 (28日) ・ 農作物不順天候対策本部設置 (22日)		
11月		あじがさわミュージックフェスティバル2003 (13日～16日)		
2月		白神山地世界遺産登録10周年記念展示 (21日～29日)		
3月		赤石保育所廃止		
7月		なぎさ・ブリッジ開通式 (16日)		

	<b>9月</b>	台風18号による災害警戒対策本部設置（7日） ・台風21号による災害警戒対策本部設置（30日）
	<b>12月</b>	ハタハタ大漁に沸く
平成17年 (2005年)	● <b>1月</b>	豪雪対策本部設置（27日）
	<b>3月</b>	中村小学校第二松代分校、鯉ヶ沢町立第一中学校 第二松代分校閉校式（26日） ・教育長に番場幸浩氏就任 ・鯉ヶ沢町史資料編発刊
	<b>4月</b>	融雪と雨による災害警戒対策本部設置（7日）
	<b>8月</b>	白八幡宮大祭
	<b>10月</b>	弘前大学・鯉ヶ沢町地域連携事業協定調印式 （6日） ・第2回世界自然遺産会議開催（弘前市、鯉ヶ沢 町、深浦町、西目屋村）（15日～17日）
	<b>11月</b>	町村合併50周年記念式典開催（23日）
平成18年 (2006年)	● <b>1月</b>	豪雪対策本部設置（13日）
	<b>4月</b>	林野庁津軽白神森林環境保全ふれあいセンター 開所式（13日）
	<b>9月</b>	赤い靴記念像建立協賛会発足（20日）
	<b>12月</b>	鯉ヶ沢幼稚園閉園式（2日）
平成19年 (2007年)	● <b>3月</b>	町議会議員定数を4名削減して13名とする ・鯉ヶ沢幼稚園閉園 ・中村保育所廃止 ・鳴沢保育所廃止
	<b>4月</b>	町長選挙で長谷川兼己氏三期目当選
	<b>6月</b>	ミニ白神10周年記念式典（23日～24日）
	<b>10月</b>	鳴沢公民館落成式（10日）
平成20年 (2008年)	● <b>4月</b>	後期高齢者医療制度はじまる ・副町長に長内仁氏就任
	<b>5月</b>	住民票、戸籍等発行にあたり本人確認はじまる
	<b>7月</b>	あじがさわ未来応援寄附金の受付開始
平成21年 (2009年)	● <b>2月</b>	レジ袋の有料化はじまる（2日）
	<b>3月</b>	町食育推進計画策定
	<b>4月</b>	町の軽自動車税を値上げ
	<b>7月</b>	「夏期巡回ラジオ体操」鯉一中グラウンドから 生放送
	<b>8月</b>	ぶさかわ犬「わさお」町特別住民に登録（10日） ・白八幡宮大祭（14～16日） ・七里長浜港から初出荷（県産スギ材・18日） ・第36回東北総合体育大会ライフル射撃協議会 開催（22～23日） ・新型インフルエンザ対策本部設置（24日）
	<b>11月</b>	長谷川兼己町長逝去（19日）
	<b>12月</b>	町長選挙で東條昭彦氏当選（27日）
平成22年 (2010年)	● <b>5月</b>	庁舎内全面禁煙開始（31日）
	<b>6月</b>	七里長浜港から初の海外輸出（10日） ・ブサかわ犬「わさお」特別観光大使に任命 （26日）
	<b>9月</b>	映画「わさお」クランクイン（30日）
	<b>10月</b>	鯉二中閉校式典（23日）、中村小閉校式典（24 日）
	<b>11月</b>	赤い靴記念像の設置（3日） ・舞戸小閉校式典（7日）、赤石小閉校式典（20 日）、建石小閉校式典（21日）、南金沢小閉校式 典（28日）
	<b>12月</b>	西海小閉校式典（4日）、鯉一中閉校式典（12日） ・元町長齋藤・次郎氏死去（30日）
平成23年 (2011年)	● <b>3月</b>	映画わさおロードショー（5日） ・東北地方太平洋沖地震発生（11日） ・鳴沢小閉校記念式典（21日） ・町議会議員定数を1名削減して12名とする

	<b>4月</b>	学区再編により新制 西海小、舞戸小、鯉ヶ沢 中開校（1日）
	<b>5月</b>	ヒラメのヅケ丼が新名物として登場
	<b>7月</b>	北前船「みちのく丸」寄港（15～18日）
	<b>11月</b>	蒸気機関車が弘南鉄道新里駅に移設（13日）
	<b>12月</b>	鯉ヶ沢中避難路完成
平成24年 (2012年)	● <b>1月</b>	誉富士関新十両昇進（一月場所）
	<b>3月</b>	第5次鯉ヶ沢町長期総合計画策定
	<b>7月</b>	マラソン村開村にむけた調印式（30日）
	<b>8月</b>	鯉ヶ沢甚句全国大会30回記念大会開催（15日）
	<b>9月</b>	津軽自動車道鯉ヶ沢道路起工式（10日）
	<b>12月</b>	東京都練馬区光が丘地区連合協議会との地域間交 流がスタート
平成25年 (2013年)	● <b>2月</b>	旧鳴沢小跡地に太陽光発電所建設で合意（4日）
	<b>4月</b>	「赤い靴記念像建立実行委員会」から 「あじがさわ赤い靴の会」へ名称変更
	<b>5月</b>	誉富士関新入幕（五月場所）
	<b>6月</b>	白神マラソン村開村（1日）
	<b>8月</b>	太陽光発電所新設工事 旧鳴沢小跡地で起工式（4 日） ・白八幡宮大祭（14日～16日）
	<b>10月</b>	教育長に神豊氏就任（1日） ・鯉ヶ沢太陽光発電所 竣工式（7日） ・鯉ヶ沢高等学校創立70周年記念式典（26日） ・舞の海秀平さん ふるさと大使就任（26日）
	<b>11月</b>	町長選挙で東條昭彦氏無投票で二期目当選
平成26年 (2014年)	● <b>3月</b>	鯉ヶ沢町土地開発公社解散（28日）
	<b>4月</b>	「ミニ白神」の名称変更 「白神の森遊山道」へ ・わさおJR鯉ヶ沢駅 観光駅長に就任（19日） ・一般廃棄物最終処分場完成（23日）
	<b>5月</b>	光信公の館リニューアルオープン（1日） ・津波避難看板を設置
	<b>6月</b>	弘大医学部中路重之教授 町健康アドバイザーに就任 （1日） ・大規模災害に備え 町と警察署が協定を締結 （23日） ・「第1回白神マラソンin鯉ヶ沢」開催（29日）
	<b>7月</b>	町施設敷地内全面禁煙（1日） ・交通死亡事故皆無1000日達成（9日） ・災害時対応と見守り活動 町と郵便局が協定締 結（17日） ・白八幡宮大祭 昭和28年記録映画「シメツル」版 DVD完成
	<b>8月</b>	「町自衛隊誘致促進期成会」設立（8日）
	<b>10月</b>	中澤さかなさん 鯉ヶ沢町観光「魚」大使に就任 （1日） ・交通死亡事故ゼロ3年 県知事表彰を受賞（13 日）
	<b>11月</b>	「第1回あじがさわ元気健康フェスティバル」開催（1 日）
平成27年 (2015年)	● <b>1月</b>	鯉ヶ沢町豪雪対策本部設置（19日）
	<b>2月</b>	鯉ヶ沢町地域公共交通会議設置（10日） ・町道「赤石溪流線」土砂崩壊により通行不能と る
	<b>4月</b>	犯罪被害者等支援担当総合窓口設置 ・鯉ヶ沢こども園に名称変更（鯉ヶ沢保育所） ・鯉ヶ沢町地方創生推進会議設置（21日）
	<b>6月</b>	J A F 青森支部と観光振興に係る連携協定締結 （9日） ・陸上自衛隊第9師団から町へ感謝状の贈呈 （14日）
	<b>7月</b>	法テラス鯉ヶ沢法律事務所開業（1日）

平成28年 (2016年)	●	10月	マイナンバー制度開始 (1日)	
		11月	交通死亡事故皆無1500日を達成 (21日) ・ナクア白神スキーリゾートが、青森スプリングスキーリゾートへ名称変更	
		12月	戸籍の電算化スタート (21日)	
		1月	「鱒ヶ沢のむかしこ」DVD完成	
		3月	副町長 長内仁氏退任	
		4月	副町長に佐藤薫氏就任 ・新消防庁舎安全祈願祭 (旧鱒一中グラウンド跡地) (21日)	
		6月	18歳選挙権 法制度が施行	
		7月	岩木山 噴火警戒レベル運用開始 ・津軽自動車道鱒ヶ沢道路開通 (30日)	
		10月	インターネットサービス等を通じた地域活性化にかかる包括連携協定締結「楽天・青銀・鱒ヶ沢町」 (5日)	
	平成29年 (2017年)	●	2月	鱒ヶ沢町豪雪対策本部設置 (3日)
		3月	新消防庁舎完成	
		4月	・鱒ヶ沢町コミュニティバス・愛称「あじバス」運行開始 ・鱒ヶ沢町新庁舎建設検討委員会設置 (13日) ・白八幡宮の大祭行事を含む「北前船文化が」日本遺産に認定される (28日)	
		5月	新消防庁舎竣工式 (28日)	
		8月	白八幡宮大祭 (14日～16日)	
		9月	鱒ヶ沢町新庁舎建設基本構想案答申 (27日)	
		11月	「光信公の館」久慈市移動展示会開催 (15日～19日)	
		12月	町長選挙で平田衛氏当選 (3日) ・教育長 神豊氏 退任 (21日) ・町長 東條昭彦氏、副町長 佐藤薫氏 退任 (26日)	
平成30年 (2018年)		●	2月	鱒ヶ沢町豪雪対策本部設置 (1日)
			3月	副町長に加藤隆之氏就任 (1日)
		4月	教育長に阿彦正弘氏就任 (1日) ・わさおJR鱒ヶ沢駅観光駅長就任 (1日)	
		6月	山田千里・福土りつ顕彰碑建立30周年記念式典・公演開催	
		9月	青森公立大学と連携協定締結 (18日)	
		10月	久慈市と「歴史文化で結ぶ友好協定」締結 (3日) ・旧鱒ヶ沢第一中学校校舎解体開始 (17日)	
		12月	県内町村初 日曜議会開催 (9日)	
	平成31年 (2019年)	●	3月	港町歴史遺産フォーラム開催(17日) ・栗焼酎「滝吉」完成発表会開催 (25日)
			4月	町制施行130周年 (1日) ・青森労働局と雇用協定締結 (22日)
	令和元年 (2020年)	●	5月	元号が「令和」と改まる (1日) ・鱒ヶ沢町新庁舎建設実施設計完成
		6月	「青森県立鱒ヶ沢高等学校と鱒ヶ沢町との連携に関する協定」締結 (12日)	
令和2年 (2020年)		7月	あじバス 運転免許証自主返納者の運賃無料化開始 (16日)	
		8月	赤石溪流線 4年半ぶり開通 (26日)	
		10月	鱒ヶ沢町新庁舎建設工事安全祈願祭 (1日) ・鱒ヶ沢町町制施行130周年を祝う会 開催 (7日)	
		12月	七里長浜港が「津軽港」に名称変更 (13日)	
	●	4月	鱒ヶ沢町新型コロナウイルス感染症対策本部設置 (8日)	
		6月	ブサかわ犬「わさお」永眠 (8日)	
		8月	鱒ヶ沢町スポーツ協会設立 (1日)	

令和3年 (2021年)	●	10月	光信公入部530年記念行事「歴史文化で結ぶ交流宣言セレモニー (光信公に縁のある5自治体：鱒ヶ沢町、弘前市、黒石市、横手市、久慈市による交流宣言)」開催 (7日)
		12月	鱒ヶ沢町漁業協同組合設立 (鱒ヶ沢漁協、赤石水産漁協合併) (1日) ・舞戸公民館での証明書交付開始 (1日) ・日本郵便株式会社と包括的連携に関する協定締結 (17日)
		1月	鱒ヶ沢町豪雪対策本部設置 (14日)
		3月	鱒ヶ沢町新庁舎建設工事竣工式 (27日)
		4月	あじバス市街地巡回線通年定期運行開始 (1日) ・鱒ヶ沢町新庁舎落成記念式典 (17日) ・鱒ヶ沢町旧庁舎閉庁式 (30日)
		5月	鱒ヶ沢町新庁舎開庁式 (6日) ・新型コロナウイルスワクチン高齢者接種開始 (10日)
		6月	鱒ヶ沢中・鱒ヶ沢高校合同運動会開催 (26日) ・白神環境フォーラム開催 (26日)
		8月	「津軽の京祭り 白八幡宮大祭展」開催 (7日～16日)
		11月	鱒ヶ沢子ども園 閉園式 (6日) ・わさお記念像除幕式 (8日)
		12月	町長選挙で平田衛氏二期目当選 (5日) ・鱒ヶ沢ヒラメのツケ丼30万食突破 (10日)
令和4年 (2022年)	●	2月	あじバス市街地巡回線にバス停「鱒ヶ沢町役場」新設 (1日) ・誉富士断髪式 (19日)
		3月	FIS・SAJ公認第28回全日本スキー選手権スノーボード競技ハーフパイプ種目開催 (20日～21日)
		4月	鱒ヶ沢町福祉安心・安全支援事業 (重層的支援体制整備事業) スタート ・鱒ヶ沢町手話言語条例 施行
		6月	鱒ヶ沢高校ゴルフ部 設立
		7月	鱒ヶ沢甚句流し踊り (小中高連携) 開催 (10日)
		8月	大雨豪雨災害 (9日～14日) ・鱒ヶ沢町災害対策本部設置 (9日) ・避難所開設【舞戸小学校、中央公民館】 (9日) ・県が災害対策救助法適用 (9日) ・町社会福祉協議会が町ボランティアセンター開設 (12日) ・災害ごみの回収・搬入開始 (12日) ・避難指示解除、避難所閉鎖 (14日) ・被災者生活再建支援法及び青森県被災者生活再建支援制度の適用【鱒ヶ沢町、外ヶ浜町】 (25日)
		10月	白神の森遊山道ガイドツアー再開 (1日)
		11月	あじがさわスイカワイン発売開始 (6日)
		12月	青森県立鱒ヶ沢高等学校魅力化推進に関する連携協定締結「青森リゾート株式会社・鱒ヶ沢高校・鱒ヶ沢町」 (6日) ・JR五能線全線運転再開 (23日)
	令和5年 (2023年)	●	3月
		4月	通学バス運行開始「JR鱒ヶ沢駅～鱒ヶ沢高校」

## 主要施設等一覧

### 官公庁等施設

名称	住所	TEL
鱈ヶ沢町役場	鱈ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321	72-2111
つがる西北五広域連合鱈ヶ沢病院	鱈ヶ沢町大字舞戸町字蒲生106-10	72-3111
鱈ヶ沢地区消防事務組合消防本部	鱈ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸385-2	72-4527
鱈ヶ沢消防署	鱈ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸385-2	72-2710
鱈ヶ沢浄化センター	鱈ヶ沢町大字舞戸町字蒲生104-1	82-2345
鱈ヶ沢町上水道浄水場	鱈ヶ沢町大字赤石町川原地77-23	72-2709
西海岸衛生処理組合(鱈ヶ沢し尿処理場)	鱈ヶ沢町大字日照田町字吉川85	72-4783
一般廃棄物最終処分場	鱈ヶ沢町大字赤石町字大和田31-1	
鱈ヶ沢町除雪センター	鱈ヶ沢町大字舞戸町字西阿部野134-23	72-5911
勤労青少年ホーム	鱈ヶ沢町大字舞戸町字小夜151	
鱈ヶ沢町総合保健福祉センター	鱈ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4	82-1600
鱈ヶ沢町地域包括支援センター	鱈ヶ沢町大字鱈ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321(ほけん福祉課内)	72-2111
鱈ヶ沢町斎場	鱈ヶ沢町大字舞戸町字西阿部野134-38	72-7622
海の駅「わんど」	鱈ヶ沢町大字本町246-4	72-6661
赤石川さけ・ますふ化場	鱈ヶ沢町大字赤石町字世永131-88	72-6148
イトウ養殖場	鱈ヶ沢町大字一ッ森町字崩ヶ沢22-1	79-2639
アユ種苗生産施設	鱈ヶ沢町大字赤石町字砂山146	72-9468
アユ中間育成施設	鱈ヶ沢町大字赤石町字世永335	72-3802
アユ養殖施設	鱈ヶ沢町大字一ッ森町字崩ヶ沢22-1	79-2102
鱈ヶ沢簡易裁判所	鱈ヶ沢町大字米町38	72-2012
五所川原公共職業安定所鱈ヶ沢町地域職業相談室	鱈ヶ沢町大字本町209-2(中央公民館内)	72-3124
津軽白神森林生態系保全ふれあいセンター	鱈ヶ沢町大字米町25-2	72-2931
鱈ヶ沢警察署	鱈ヶ沢町大字本町207	72-2151
舞戸駐在所	鱈ヶ沢町大字舞戸町字下富田29-119	72-2005
赤石駐在所	鱈ヶ沢町大字赤石町字宇名原235-2	72-2023
鳴沢駐在所	鱈ヶ沢町大字北浮田町字外馬屋33-1	72-2803
青森県立栽培漁業センター日本海事業所	鱈ヶ沢町大字本町246-2	72-7005
西北地方漁港漁場整備事務所	鱈ヶ沢町大字本町246-3	72-2345
西北地域農林水産部 指導調整課、畜産課、林業振興	鱈ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37(西北地域県民局鱈ヶ沢庁舎)	72-6612
鱈ヶ沢水産事務所	鱈ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37(西北地域県民局鱈ヶ沢庁舎)	72-4300
鱈ヶ沢道路河川事業所	鱈ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37(西北地域県民局鱈ヶ沢庁舎)	72-3135

### 児童福祉施設等

名称	住所	TEL
社会福祉法人あおもり愛育会 たていし愛児園	鱈ヶ沢町大字建石町字島田124-3	72-1246
社会福祉法人つくし会 みなみ保育園	鱈ヶ沢町大字館前町字後口田28-4	79-2530
社会福祉法人つくし会 認定こども園つくしの森	鱈ヶ沢町大字北浮田町字今須79	72-2704
社会福祉法人みちのく会 舞戸保育所	鱈ヶ沢町大字舞戸町字下富田29-7	72-2277
鱈ヶ沢町にこにこ子ども館	鱈ヶ沢町大字舞戸町字上富田26	72-3571
鱈ヶ沢町児童公園	鱈ヶ沢町大字本町197	
新田町児童公園	鱈ヶ沢町大字舞戸町字下富田3-26	

### 教育・文化関連施設

名称	住所	TEL
鱈ヶ沢町教育委員会	鱈ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321	72-2111
西海小学校	鱈ヶ沢町大字舞戸町字小夜190	72-2066
舞戸小学校	鱈ヶ沢町大字舞戸町字久富27	72-2789
鱈ヶ沢中学校	鱈ヶ沢町大字赤石町字大和田27	72-3083
鱈ヶ沢町学校給食センター	鱈ヶ沢町大字舞戸町字久富27	72-6123
青森県立鱈ヶ沢高等学校	鱈ヶ沢町大字舞戸町字小夜72	72-2106
鱈ヶ沢町中央公民館	鱈ヶ沢町大字本町209-2	72-2859
舞戸公民館	鱈ヶ沢町大字舞戸町字上富田149-2(ショッピングセンターパル2)	72-5884
中村公民館	鱈ヶ沢町大字中村町字中山ノ井109	82-1127
赤石公民館	鱈ヶ沢町大字赤石町字宇名原232-2	72-2858
鳴沢公民館	鱈ヶ沢町大字北浮田町字外馬屋83-3	82-2051
日本海拠点館	鱈ヶ沢町大字舞戸町字北禿181	72-5555
種里城趾光信公の館	鱈ヶ沢町大字種里町字大柳90	79-2535
自然観察館「ハロー白神」	鱈ヶ沢町大字一ッ森字吉川30	79-2717

スポーツ・レジャー・観光等施設

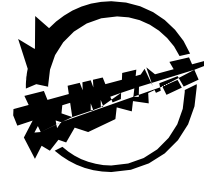
名称	住所	TEL
鯉ヶ沢町スポーツセンター (教育委員会社会教育課)	鯉ヶ沢町大字舞戸町字小夜151 (体育館、ビームライフル射撃場、相撲場)	72-2111
鯉ヶ沢町室内温水プール	鯉ヶ沢町大字舞戸町字小夜51-1	72-5700
鳴沢町営野球場	鯉ヶ沢町大字北浮田町字外馬屋197-1	
鯉ヶ沢町大高山ライフル射撃場	鯉ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野2	
大高山総合公園	鯉ヶ沢町大字舞戸町字西松島304-2	72-7002
青森スプリング・スキーリゾート	鯉ヶ沢町大字長平町字西岩木山75	72-1011
青森スプリング・ゴルフクラブ	鯉ヶ沢町大字長平町字西岩木山75	72-1011
鯉ヶ沢キャンピングパーク(長平青少年旅行村)	鯉ヶ沢町大字長平町字甲音羽山251-15	72-1571
はまなす公園(鯉ヶ沢海水浴場)	鯉ヶ沢町大字田中町114	
新設海浜公園(新設鯉ヶ沢海水浴場)	鯉ヶ沢町大字舞戸町字北禿182	
金沢農村公園	鯉ヶ沢町大字南金沢町字床夏204-1	
中村農村公園	鯉ヶ沢町大字中村町字中山ノ井244-1	
小の畑ふれあい広場	鯉ヶ沢町大字浜横沢町字鷺泊26-1	
孫三郎公園	鯉ヶ沢町大字赤石町字宇名原27	
中村川ふれあい公園	鯉ヶ沢町大字舞戸町字蒲生113-3	
白神の森遊山道・くろもり館	鯉ヶ沢町大字深谷町字矢倉山1-26	79-2009
白神大然河川公園	鯉ヶ沢町大字一ツ森字吉川及び崩ヶ沢地内	

集会場施設

名称	住所	TEL
山村開発センター	鯉ヶ沢町大字本町209-2	
間木集会所	鯉ヶ沢町大字中村町字上清水崎107-56	
防災コミュニティセンターまつだい	鯉ヶ沢町大字松代町字白沢49-1	73-2007
大然集会所	鯉ヶ沢町大字一ツ森町字大谷62-5	
館前集会所	鯉ヶ沢町大字館前町字山口4-4	
日照田集会所	鯉ヶ沢町大字日照田町字野脇96-1	
北浮田集会所	鯉ヶ沢町大字北浮田町字今須前田57-1	
山子漆原防災コミュニティセンター	鯉ヶ沢町大字南金沢町字晴間168-3	
上野集会所	鯉ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸153	
小の畑生活改善センター	鯉ヶ沢町大字浜横沢町字深沢8-1	73-2136
長平生活改善センター	鯉ヶ沢町大字長平町字甲音羽山65-123	72-1172
南金沢生活改善センター	鯉ヶ沢町大字南金沢町字床夏204-3	
浜横沢生活改善センター	鯉ヶ沢町大字浜横沢町字金沢7-2	72-5890
細ヶ平生活改善センター	鯉ヶ沢町大字深谷町字細ヶ平76-2	
小森林業センター	鯉ヶ沢町大字小森町字野田99-3	
一ツ森林業センター	鯉ヶ沢町大字一ツ森字上禿88-2	
鳴沢農業実習センター	鯉ヶ沢町大字建石町字大曲44-17	
中下農村婦人の家	鯉ヶ沢町大字中村町字下清水崎142-1	72-5944
種里地区農村集会所	鯉ヶ沢町大字種里町字前田76-3	
白沢営農総合研修所	鯉ヶ沢町大字芦荻町字下雲母坂66-24	73-2616
川尻営農総合研修所	鯉ヶ沢町大字北浮田町字今須154-178	72-2974
保木原農業センター	鯉ヶ沢町大字北浮田町字外馬屋前田54	72-2354
南浮田農業センター	鯉ヶ沢町大字南浮田町字早田83-2	72-5616
黒森木材工芸品等加工施設	鯉ヶ沢町大字深谷町字黒森114-6	
湯舟ふれあい館	鯉ヶ沢町大字湯舟町字若山杳沢71-2	72-2970
アグリビジネスホール	鯉ヶ沢町大字建石町字成沢77	72-1025
鯉ヶ沢町老人憩の家	鯉ヶ沢町大字舞戸町字西阿部野120	72-4125
建石老人憩の家	鯉ヶ沢町大字建石町字雲雀野48-2	
芦荻へき地保健福祉館	鯉ヶ沢町大字芦荻町字鹿子石82-5	73-2777
大和田集会所	鯉ヶ沢町大字赤石町字大和田28-1	72-6272
新田町集会所	鯉ヶ沢町大字舞戸町字上富田108-4	72-6032
深谷集会所	鯉ヶ沢町大字深谷町字菅沼30-9	

## 鱒ヶ沢町章

町章は、ひらがなで「あじがさわ」をあらわしたもので、あじがさわの「わ」を図案化し、円を作った。円は、町内の融和をあらわし、あじがさわの「あ」と「さ」を円より飛び出させ、鱒ヶ沢町の発展を象徴しました。



## 町の花 はまなす

はまなすは、赤石から川尻に至る海岸砂丘に群れ咲き、赤い実をつけます。四季を問わず日本海の厳しい自然環境に耐えて繁殖する生命力は、この地で暮らす住民の真摯な姿、強い忍耐力を体現しています。

## 町の木 けやき

けやきは、古くから防風林として家屋周辺に植樹され、人々の生活を守る役割を担ってきた樹木です。また、銘木の王者とも評されるその逞しい姿は、地域の躍進や発展を願う力強い象徴ともいえます。

## 町の鳥 うぐいす

「春告げ鳥」と評されるうぐいすの鳴き声は、雪国に住む人々にとり、いち早く、春の息吹を感じさせてくれる象徴ともいえます。暗く長い冬を越え、新たな生命の誕生や希望が芽吹き、何かが始まる躍動感の象徴ともいえます。

## 鱒ヶ沢町データブック 2023

令和5年7月発行

編集・発行

鱒ヶ沢町 政策推進課

青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地

電話 0173 (72) 2111 FAX 0173 (72) 2374